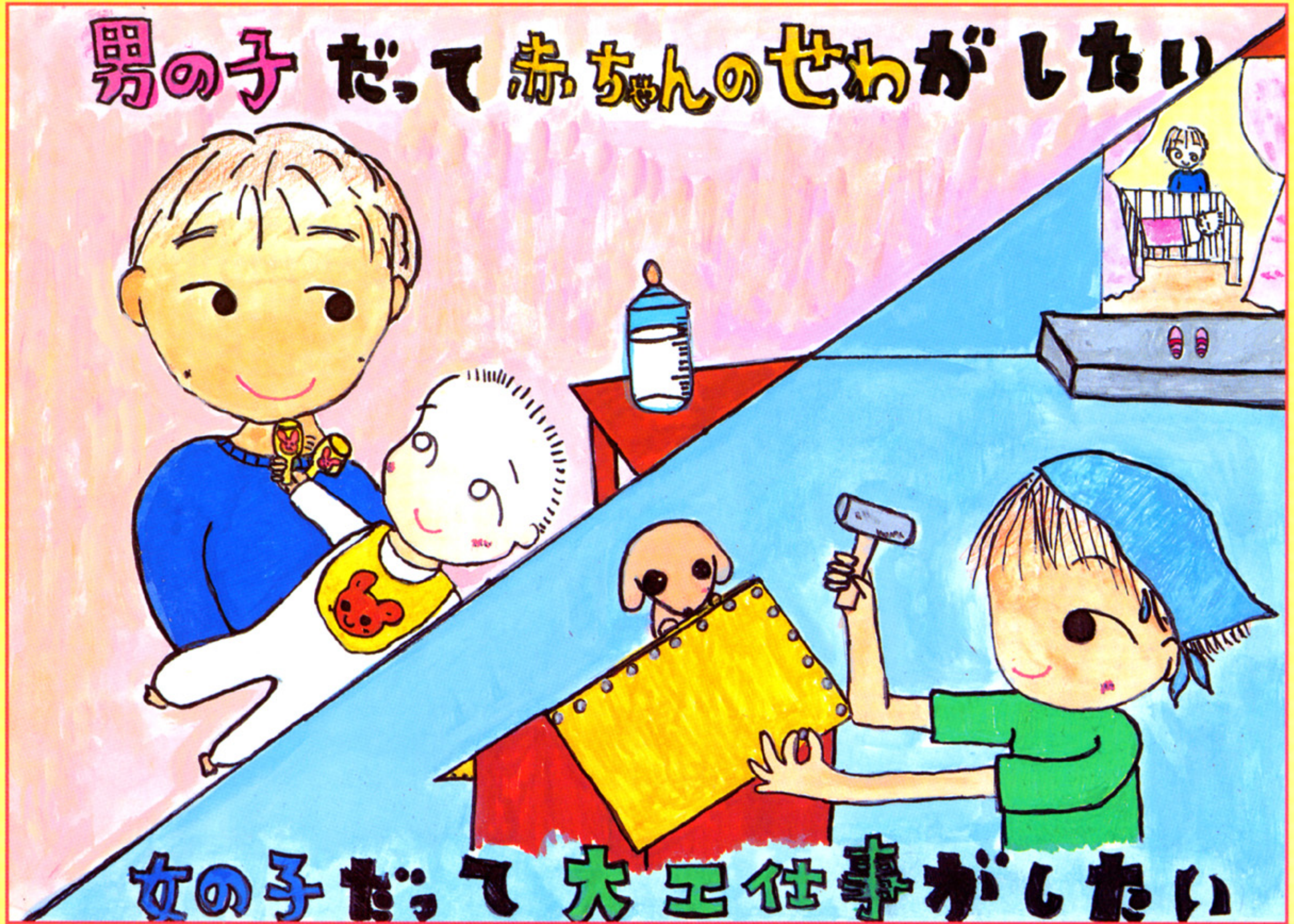


# ハーモニー



▲門池小 清水 翠さんの作品

## Contents

- |                   |       |                    |       |
|-------------------|-------|--------------------|-------|
| ●男女が共に輝く沼津市をつくりたい | 2・3   | ●言わせて、子育てまっ最中ヨ!    | 12・13 |
| インタビュー：斎藤市長       |       | ●これが21世紀の子育て       | 14・15 |
| ●男女差別のない学校教育を     | 4・5   | ●現代子ども事情           | 16・17 |
| インタビュー：長澤教育長      |       | ●知っていますかファミリーサポート  | 18・19 |
| ●わが家はこんな妻・夫       | 6・7   | ●こんな支援もある「エンゼルサロン」 | 20・21 |
| ●あなたの家の「家事」は?     | 8・9   | ●男女共生社会をめざして       | 22    |
| ●沼津市内の小学5年生739人に  | 10・11 | —平成12年度 市の取り組み状況—  |       |
| 聞きました —アンケート—     |       | ●ぬまづハーモニーカレッジの歩み   | 23    |

# 男女が共に輝く沼津

— 斎藤市長

て女性で驚きました。

働くってどういうこと？ 本当の自分の能力を活かさんがための働きなのか、表現は悪いですが所得を多くせんがための働きなのか。両方の要素はあるでしょうが、子育てを中心にする時期があってもいいと思うんですよ。そのへんの価値観が、高度成長の中で日本人は軸足がぶれてしまったのではないのでしょうか。所得の見返りのために犠牲にしたものと得たもののバランスを、よくみていくことが大切ですね。

Q：子育てをしている女性が働きづける場合、支援があるといいなと思うのですが

子育て支援とこれからの教育

A：子育てに関してはできるだけ支援をしたいと、沼津市は昨年「ファミリーサポート制度」を導入しています。

施設・サービスは当然重要ですが、子どもから見た場合、サービスをすればするほど親子のふれあう時間は短くなりますよね。それは子どもにとって幸せなのだろうか…。そこ

をうまく両立させていく方法を考えていきたいですね。

高齢者にも子育てにはまだまだ関わってほしいですね。

しかし、子育ては大変ですね。子どもをかわいがるということは、子どもの欲しいものを与えることだと考える傾向がありました。そういう環境で育ってくれば、自分の思うようにならないとおもしろくないと思ってしまふのは当たり前です。そこで十二年度から、沼津市の教育の中で「知恵づくり・人づくり・沼津の教育21」を小中学校でやっているんですよ。

基本は、子どもたちに「ものの善悪・我慢・人への配慮」をしっかりもってもらいたいということです。そうすれば、社会に出て戸惑わず、新しい問題にも自ら工夫していける子どもに育ってくれるはずですよ。

ペーパーテスト以外のものが育ってくれて、素晴らしい人間に成長してくれば、女性と男性が協力しあって、共に考え、共に行動していく「男女共同参画社会」の実現もすぐそこ、ということになるのではないのでしょうか。

ハーモニーカレッジ生がつくってくれる今回の情報紙が、市民の皆さんに役立ちまた大いに利用してもらえんことを願っています。



## 〈取材を終えて〉

この他にもいろいろお話していただきましたが、「子どもに夢をもたせたい。それには、幼いときから子どもの夢を聞いてあげて、それを具体化するために膨らませていってあげる親の姿勢が重要」と言われた市長の言葉が残っております。斎藤市長、お忙しい中ありがとうございました。

# 市をつくりたい

— お聞きしました —



Q：市長はご家庭の中で、家事などどのようになさっていますか

簡単な家事はこなしています

A：男女共生の情報紙二号がハーモニーカレッジの受講生によってつくられることは、素晴らしいことです。男性が家事に参画したほうがいいよというのは、もっともなことですよ。我が家は妻と二人の生活ですが、人の出入りは多いですね。私はテーブルセティング・食後の皿洗いなどしますが、食事づくりはしていません。洗濯物の取りいれやたたんだりはやりますよ。でも女性からみれば、もっとやってもらいたいということ

平成十一年六月に男女共同参画社会基本法が施行され、国民の役割として、男女が家事・育児等に関わり協力しあうことが求められています。そこで、斎藤市長と長澤教育長にご自身も含めて、「男性の家事参画」「女性の働く場」「子育て支援と学校教育」について聞いてみました。

かもしれませんね。

妻が留守の時メモが置いてあるので、その通りレンジでチーンとやったり、お湯を沸かしたり。そうしないと飢えちゃいますからね。(笑)

Q：女性が働く上での環境整備という点で、女性管理職の進出配置についてはどうお考えですか

男女に関係なく能力のある人は登用していきたい

A：私は、能力のある人は男女に関係なくどんどん登用していこうと考えています。

ある日突然、管理職になれと言わ

れた時、引き受けるタイプとごめんなさいというタイプの二つが女性にありません。今までそういう環境に育っていなかったもので、これからはそういうことを少しずつ直していき、権限・厳しさ・責任を理解してもらえ人を配置していきたいですね。と言っても、優秀な人がどんどん入って来てくれますから、これから沼津市は女性の管理職が増えていきますよ。

それにしても、女性の働く場は増えてきたね。何年前か、神奈川県のあるダム工事現場に行った時のことですが、その時現場で五十五トンのダンプカーを運転しているのがすべ



子どもの人権と  
ジェンダーフリー教育

**A**…子どもは兄弟、姉妹であつても一人ひとりの違うということを親や教育に携わ

**Q**…それでは、思いやり、いたわりの心を育てるにはどうしたらよいでしょうか？

があればできたことではないでしょうか。女性が仕事上で責任ある地位につくことは、社会の問題ばかりでなく、家庭の協力が必要になってくると思います。中高年の男性が家事ができない・しようとしなないのは、育った環境にも原因があると思いますよ。

る人は忘れてはいけません。なんでも平等ということは、別の面では不平等を生みますからね。

思いやりは小さい頃の家庭教育から培われていくと思いますよ。

男の子だから、女の子だからと決めつけてはいけないし、個人的な人格を大切にしておく必要があるのではないのでしょうかね。

今、学校ではジェンダーフリーが当たり前として、男女混合名簿や家庭・技術科共修など、生徒の方は違和感なくやっていますよ。

今後も、各学校が創意工夫を生かし特色ある学校づくりを進め、豊かな人間性や自ら学び考える力を養うため、児童生徒の人権に十分配慮

して、一人ひとりを大切に教育指導を行っていききたいですね。

夜・Bグループ  
(ブラス1)

1作品は情報紙の表紙に、2作品はポスターになります。いずれも4月以降、小中学校や市の施設など関係諸機関に配布します。

啓発用ポスター（2作品）

片浜中 瀧口夏実さん



片浜小 杉本 彩さん



# 男女差別のない

## 学校教育を

### 長澤教育長にお聞きしました

Q…長澤教育長は自宅で家事をなさいますか

料理はうまいと言われています

A…私ですか。もちろん家事はやっていきますよ。

家事をすることは、子どもからおじいちゃん・おばあちゃんまでの家族構成の中で、家族の一員として当然当たり前のことだと思っています。今のところ、私の家事仕事は家の補修全般ですね。

子どもが小さい頃には料理もしましたよ。カレーライスやシチューなど、妻のつくったものより評判がよかった。でも、たくさん食べてくれた子どもも家を離れたし、仕事も忙しく、今は月に一度か二度になってしまいました。

家族形態によっても異なりますが、共働きの場合は当然家事の分担が必要です。

私が以前赴任していた県教育研究所では、若い先生も中堅の先生もかなり前から明確な家事分担をしていました。月・水・金は夫、火・木・土は妻という具合にね。まだ週休二日制になる前のことですよ。

まあ、家事分担はお互いに相手をいたわる気持ちがあれば、自然に生まれてくるものではないかなあ。性別にあまりこだわらず、家族が共同体として自分の責任分野を担うべきだと思います。

#### 夫の理解が不可欠

そうそう、県庁にいた頃こんなことがありました。女性の管理職登用のために、学校の事務長として数人の女性を候補に選んだんですよ。そしたら、二人が辞退。理由は、責任の重い仕事を任せられるのは負担だということ。しかし、それは家族の思いやり、特に夫の理解といたわり

決定!

ポスターと表紙(情報紙)の絵が決定!

出品してくれた小中学生のみなさん  
ありがとうございました

市ではこのほど、男女共生に向けての啓発用ポスターを作成するため、小学校4・5年生と中学生有志から作品を募集したところ70点の出品がありました。

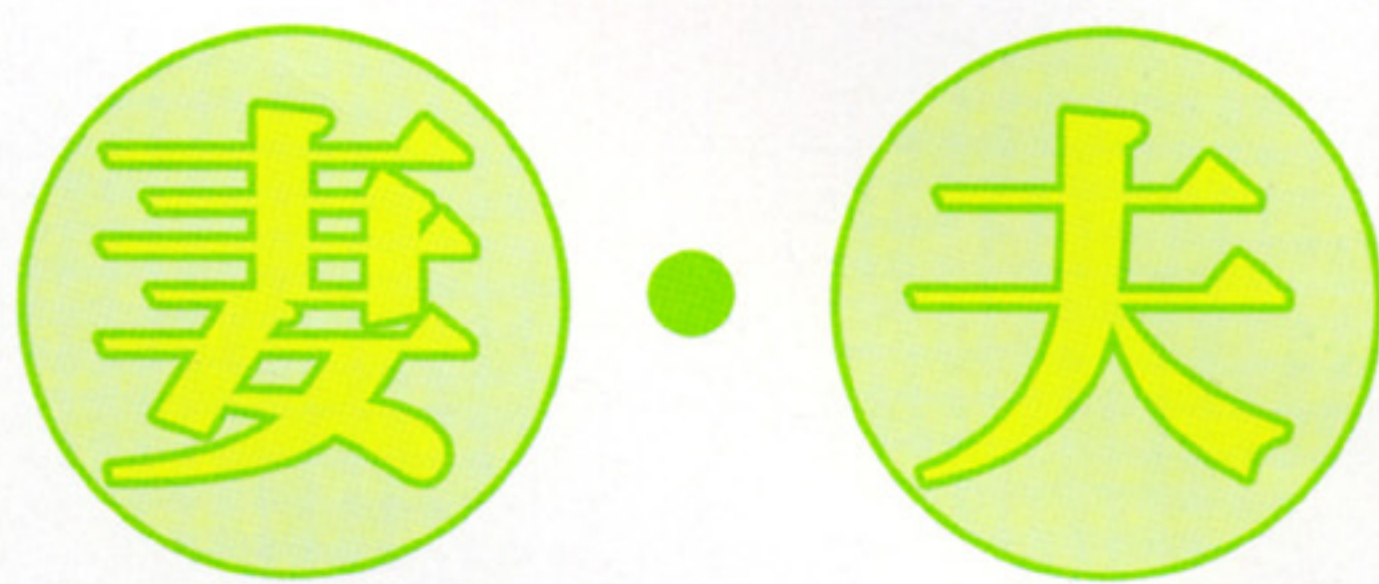
沼津市男女共生プラン推進委員会で選考の結果、次の作品に決定しました。

ハーモニー (情報紙) 表紙 (1作品)



門池小 清水 翠さん

# 我が家は こんな



このコーナーでは、日常生活の一場面から「男女が共に助けあう暮らし」について考えます。今回のテーマは「家事は女の仕事か？」です。体験談をもとに性別役割分担について考えてみました。

## 料理・しています

家事というと女性の仕事と思う固定観念が少なからずあります。私も結婚して何年かはそうでした。が、子どもが1人・2人・3人と生まれていくうちに、妻は育児に追われ、私が唯一助けてあげられることは料理でした。

今では料理をつくることは大切なコミュニケーションのひとつです。男は外で仕事だけしていればいいのではなく、家族（妻）が忙しいとき、育児で大変なとき、お互いにできることをしあうということが大変重要だと思います。

（市内在中・男37歳）

## 定年後はやろうかなと思っています

男女共生と言われ出し、職場ではいろいろ変わりつつありますが、自分のことを言うと、毎日仕事で疲れて家に帰る、専業主婦の妻がお茶を入れるという場面が長年の習慣です。別に自分で入れても構わないが、「家のことは妻に任せ、男としては（外の）仕事か」と考えてしまいます。「家事は時間的に先送りしようと思えば、掃除、洗濯等の回数を抜いてもどうということもないが、責任ある仕事はそうはいかない」ですからね。

定年後は自分のためにも家事を手伝っていくつもりです。

（市内在中・男55歳）

## 家事？ できることはやっています

うちは子どもが生まれるのが遅かったので、結婚した当初から2人で一緒に買い物に行ったり、皿洗い、ゴミ出しをしました。

新聞・雑誌の整理はお手のものです。これは私が子どものときからやっていたから、全然苦になりません。今もできることはお互いにやるようにしています。

（市内在中・男54歳）

## このごろ、夫が料理をはじめました

私の夫（55歳）は数年前までは「男子厨房に入らず」でしたが、このごろは「今は惣菜も売っているし、たまには自分でつくってみるから」と言うので、我が家をあけるときもつくり置きなど、あまり気にせず出られるようになりました。

パリに住む知人夫婦を訪ねたときのこと。空港で出迎えてくれた2人と揃って知人宅に着くと、台所に向かったのは夫（50歳）の方で驚きました。慣れた手つきでじゃがいもの皮をむきながら「オープンに入れて焼くのに時間がかかるから早く準備しないとね。女性は外出から戻っても、着替えやら何やらですぐには調理にとりかかれないから」と。もちろん日本人です。住む環境が自然とそうさせるのでしょうか。

（市内在中・女55歳）

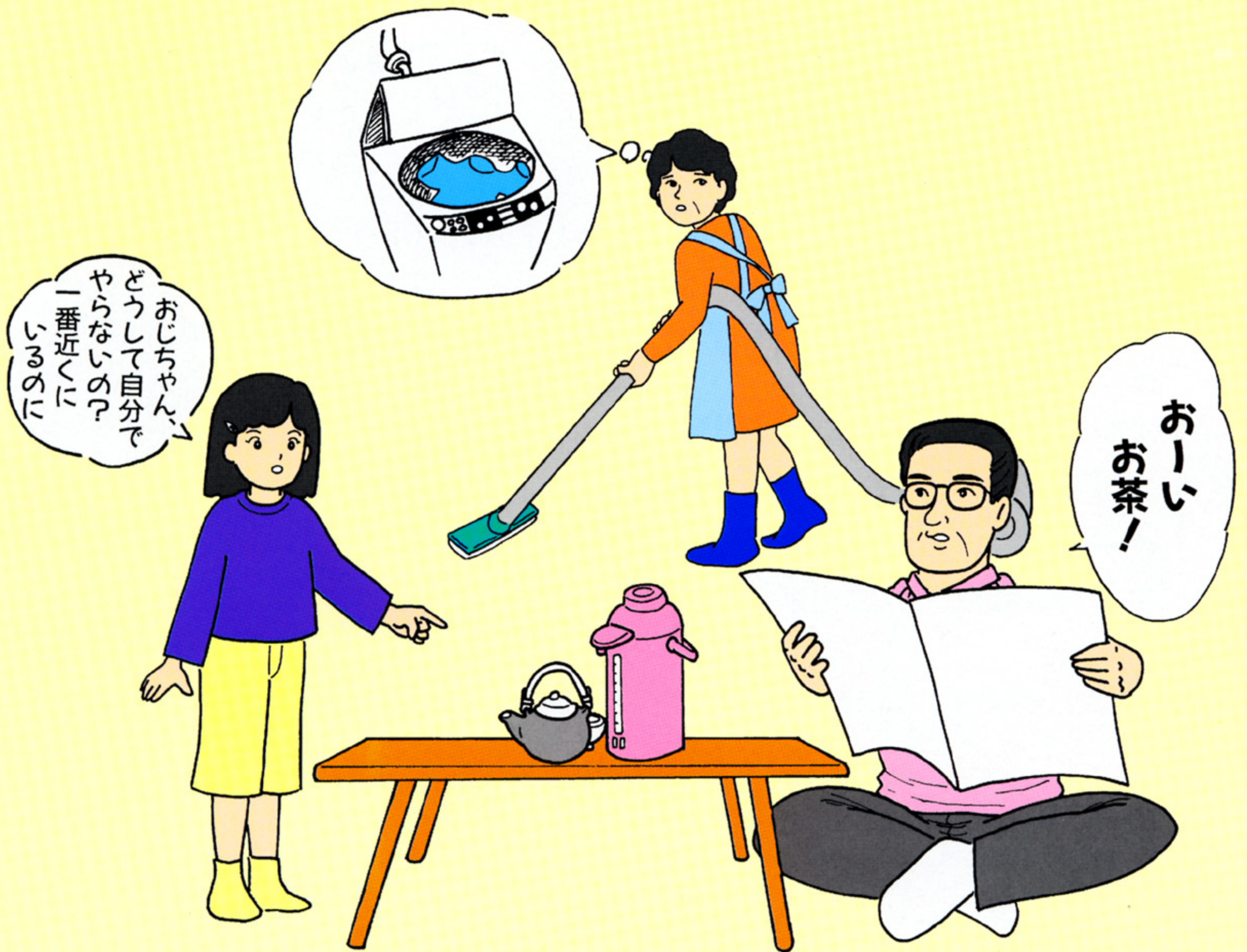
## おーい、お茶！

親戚の女の子（小学5年生）が我が家に遊びに来ていたときのこと。家事で忙しく動きまわる私に、夫が「おーいお茶！」と言いました。すると女の子が不思議そうに見つめて、「おじちゃん、どうして自分でやらないの？一番近くにいるのに」と問いかけたのです。

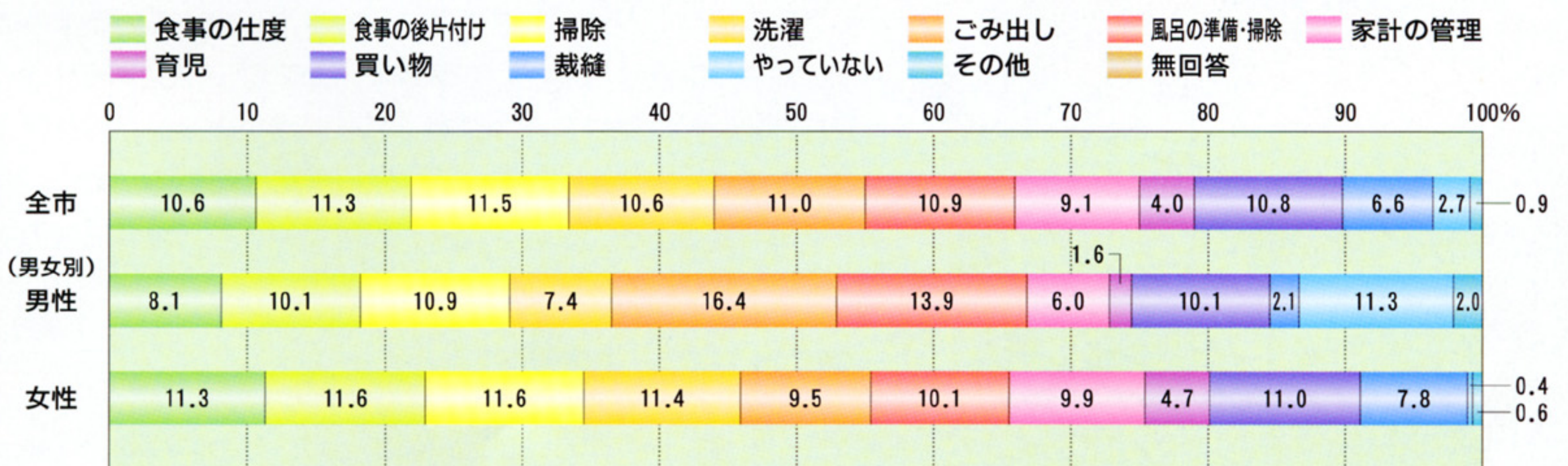
ハッとしている夫の表情が今でも目に浮かびます。

（市内在中・女55歳）

# おーい お茶!



行っている家事〈男性の家事は「ごみ出し」と「風呂の準備・掃除」が多い〉



〈沼津市市民意識調査1998年（平成10年）度〉

## 性別役割分業

「男は仕事、女は家事・育児」というように、性別によって役割を分業すること。家事や育児はまだ女性の仕事とされているのに加え、急激に進む高齢化の中で、介護の負担は依然、妻や家族の中では主に女性が負っているという現実があります。女性の側だけが、家事や育児、介護の負担が偏らないようにしていくには、労働時間の短縮、保育、介護制度など社会全体のバックアップが必要と同時に、男性の家庭参画が求められます。

# アンケート

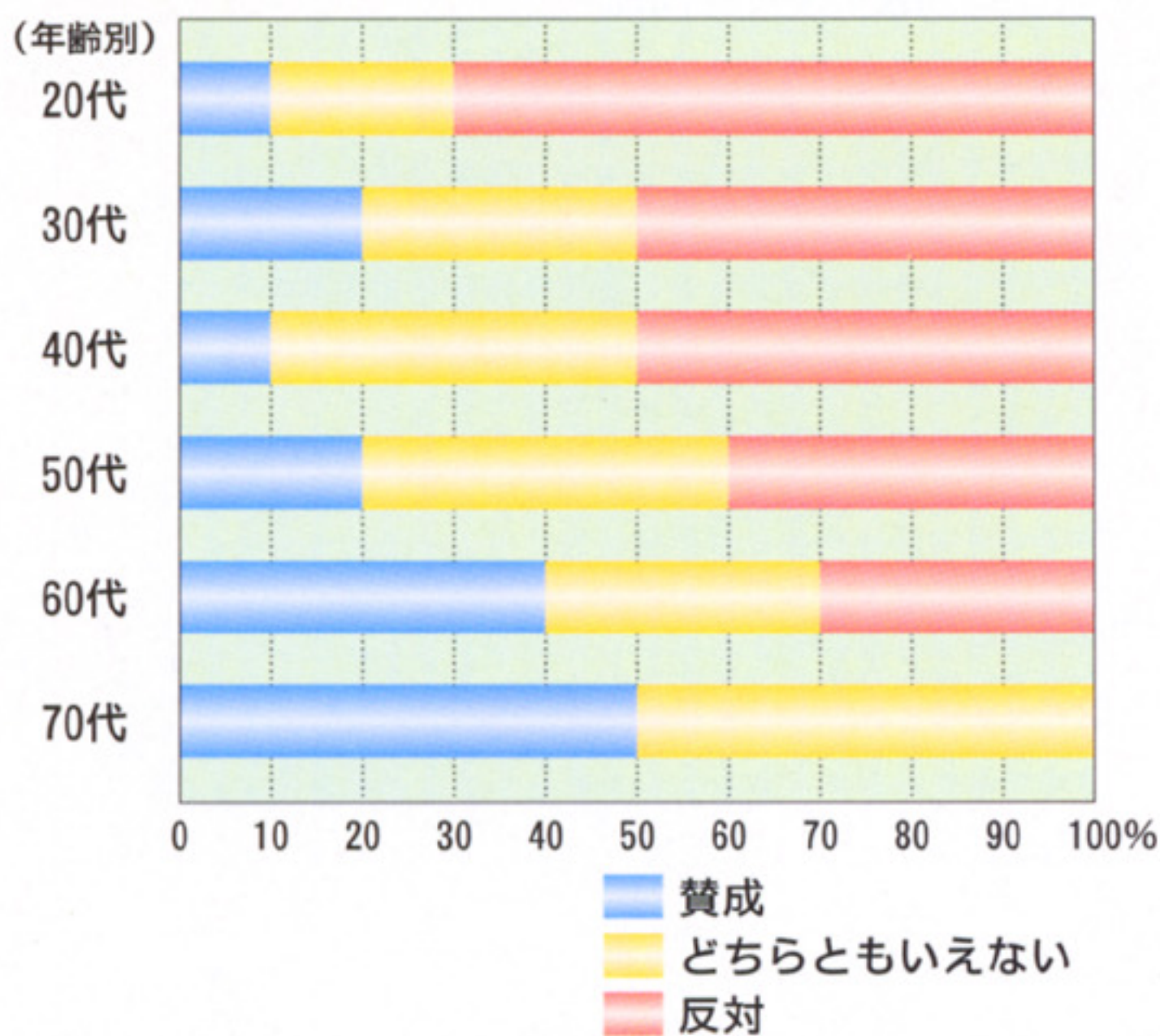
## あなたの家の「家事」は？

実際に「家事の役割分担」はどのように行われているのでしょうか。

沼津市在住の60人のみなさんにアンケートをしました。年齢は20代から70代それぞれ10人ずつ。「静岡県の男女共同参画に関する調査結果報告書」（静岡県、1998年（平成10年）3月）を参考資料にしましたが、このアンケートはわずか60人という少人数でありながらも、県の報告書と類似した結果となりました。

### 「家事」について60人の市民に聞きました （女は家庭・男は仕事）という考え方についてどう思いますか

「女は家庭、男は仕事」という考え方についてどう思いますか



#### 賛成者

- 男は男らしく女は女らしく常に助けあっていれば、何かがおきても何とかなるものだ。

#### どちらともいえない

- 「かくあるべき」という考え方ではなく各家庭のライフスタイルにあったやり方が良いと思う。
- お互いの人格を認めあったうえで決めることだと思うが、少々抵抗を感じる。アメリカでは男は職場でも緊張、家庭でも緊張しカウンセリングや離婚を手がける弁護士が増えているようだが、やはり家庭は「癒し」の場でホッとする所であってほしい。
- 妻亡き後、冷蔵庫に食べ物があるにもかかわらず夫が飢餓死したというニュースを聞いた。男性も厨房に入る必要性あり。
- 女が男と対等に働こうとすれば、倍以上の努力が必要な世の中だと思う。

#### 反対者

- 女性も社会に出て働き、いろいろな知識、世の中の動きを知って生きていくべきだと思う。
- 今の時代は、女も男も両方のことをこなさなくてはいけなくなった。
- 社会も家庭も男女協力して、より良い社会と家庭を築くべきだ。

#### あなたのご意見は？





## 仲良く家事をしていきたい

夫・会社員41歳、妻・無職40歳

子ども2人（9歳、7歳）

ひとこと：結婚してから夫は米のとぎ方、野菜の切り方を練習しました。仕事が休みのときはできることを手伝ってもらいます。これからの時代は夫婦で仲良く家事をしていきたいですね。

## 子は親の後ろ姿を見て育つ

夫・公務員51才、妻・公務員51才

子ども2人（双子・大学生）

ひとこと：結婚したときから共働き、そのうえ双子の出産・育児と大忙し。仕事から帰ると家事が山積み。夫婦ともに助けあいました。早く帰宅した方が食事のしたくをします。夫が育った家庭環境は「男子厨房に入るべし」の家だったので、抵抗なく家事に参加できたのでしょ。今では包丁をとぎ、本を片手に新しい料理に挑戦しています。子どもたちも小さいころは洗濯物の取りこみの手伝いから始まり、小学3～4年生ごろからは食事づくりの手伝いをしていました。いつのまにか自分の身のまわりのことは全部自分できるようになりました。「子は親の後ろ姿を見て育つ」を実感しています。

## Back to Basic

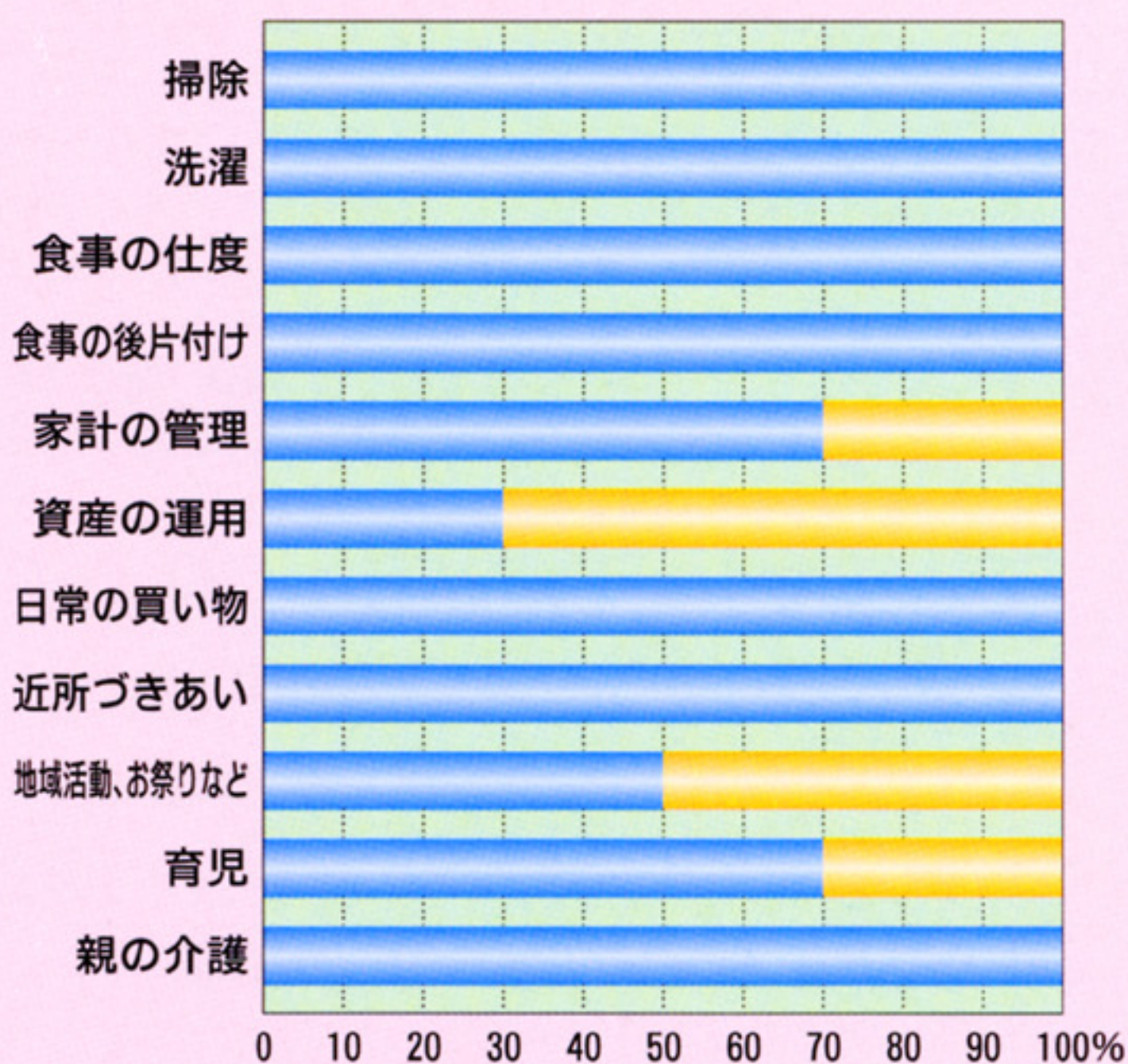
夫・無職76才、妻・無職73才

子ども3人（独立別居）

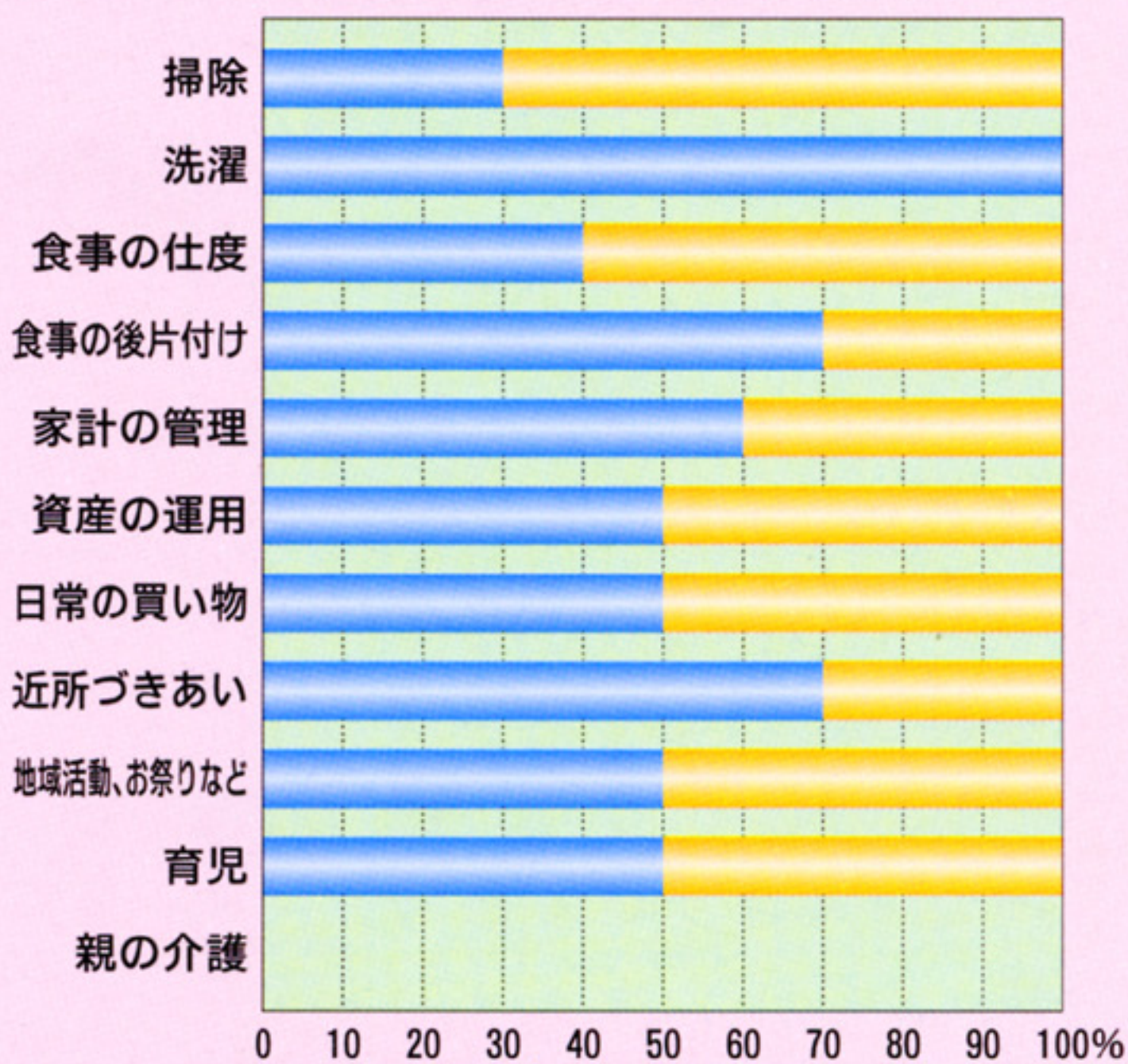
ひとこと：4年前、妻がくも膜下出血で倒れました。手術を受け回復しましたが、今度は腰痛に悩まされ半年入院。現在は通院中。妻が倒れることなど予想もしませんでした。妻が元気なうちに私は沼津市保健センター主催の「男の料理教室」に3回通い、カレー・けんちん汁・野菜サラダ・ねぎぬた・おしるこを習いました。妻が倒れたとき、それが大いに役に立ちました。また、我々年代の少年時代は忙しい母親の手伝いをよくしたものです。掃除・洗濯・食事の支度・ボタンつけ・つくろいなど。それらも現在大いに役立っています。長い人生からみれば学校の学習だけが勉強ではありません。小さいころの家事手伝いも立派な勉強。生活の基本です。今の教育に一言「Back to Basic」!!

■ 妻 ■ 夫

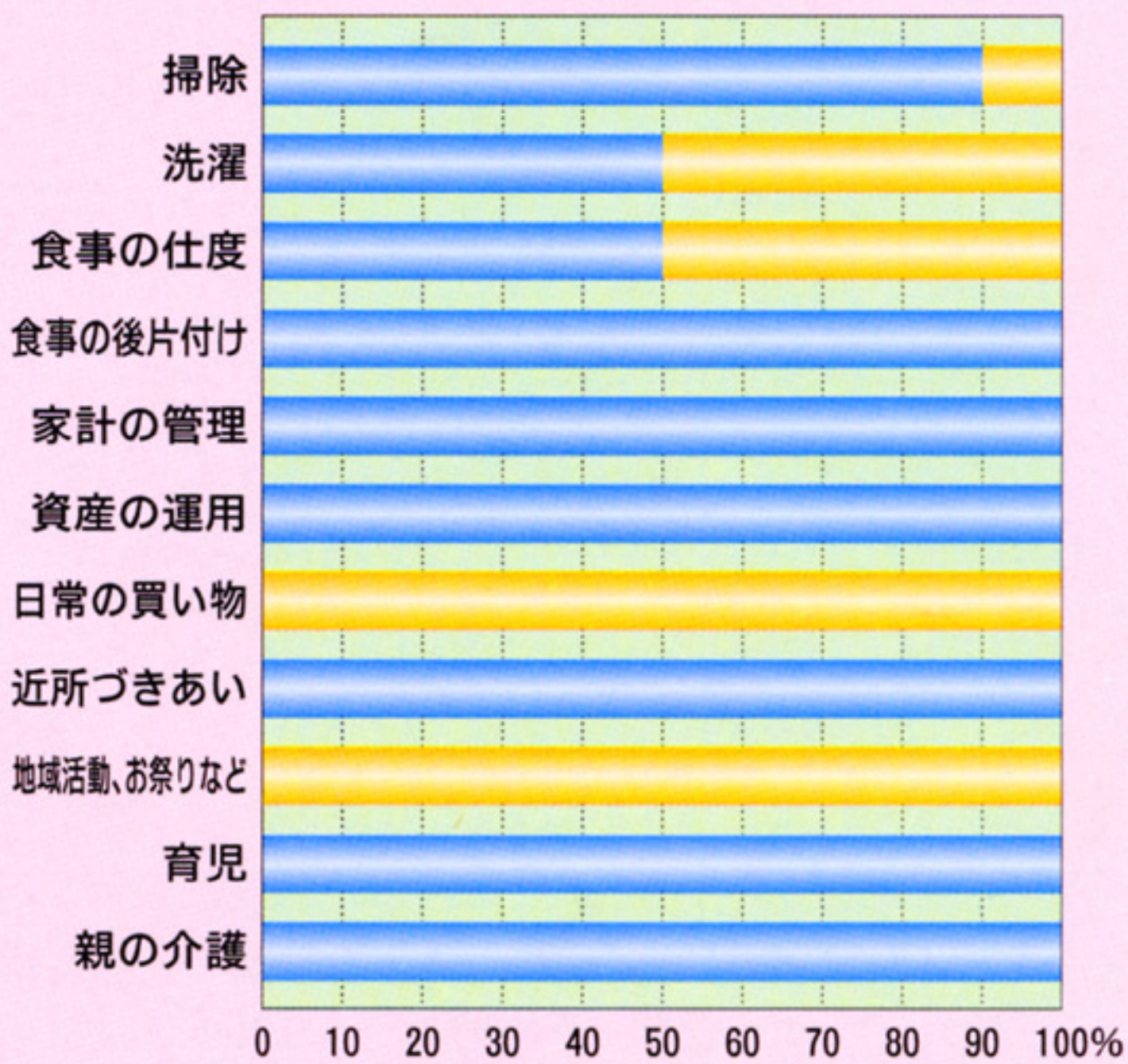
Aさん宅の妻・夫の家事役割



Bさん宅の妻・夫の家事役割



Cさん宅の妻・夫の家事役割



# 沼津市内の小学5年生 739人に聞きました

## — 男女の性差に関するアンケート —

沼津市は1999年（平成11年）に「ぬまづ男女<sup>ひと</sup>ハーモニープラン」を策定し、男女共同参画社会の形成へ踏み出しました。

そこで今の小学生は、**ジェンダー（「女らしさ」「男らしさ」のように社会的・文化的につくられた性差）**についてどのような受けとめ方をしているのか、日常生活のなかから探っていこうとアンケート調査をしました。ここに調査結果の一部を紹介するので、ジェンダーについて考えてみてください。

**調査の対象** 沼津市 小学校（25校）の5年生（各校1クラス）合計739人

**調査期間** 2001年（平成13年）1月15日～22日

**調査方法** 設問は、担任に読み上げてもらい、児童がアンケート用紙に書き込む。

◎あなたのランドセルの色は何色ですか

ランドセルの色が、圧倒的に赤と黒で占められているのはなぜなのかな？

女子	赤	ピンク	ロゼピンク	赤紫	茶	その他
	333	9	3	2	2	2
男子	黒	紺	緑	白	茶	その他
	381	6	0	1	0	0

◎なぜ、その色に決めたのですか

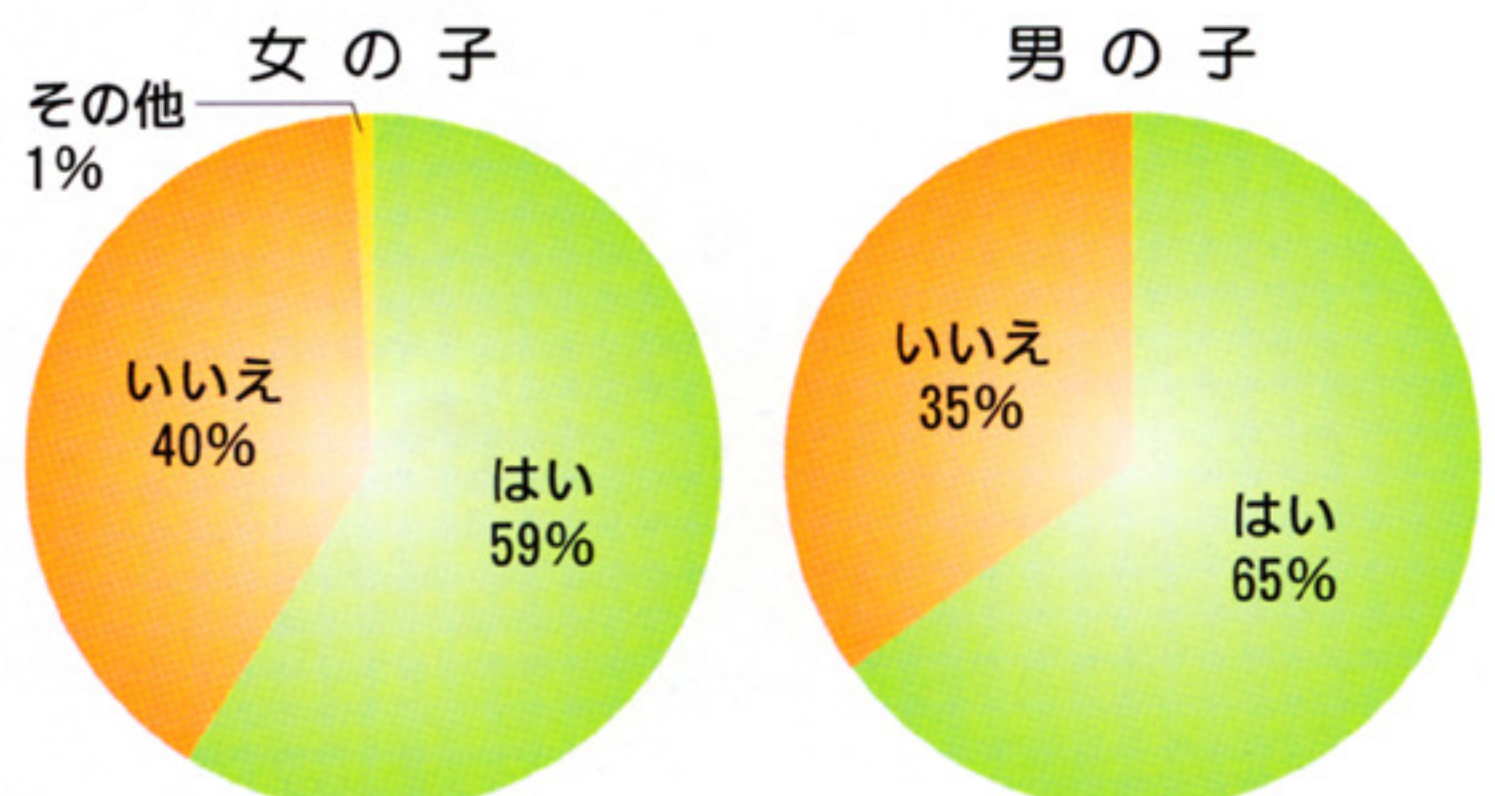
女の子だから赤、男の子だから黒といつ、だれが、どうして決めたの？ 変ですね。これこそジェンダーそのものです。

	学校で決められたから	好きな色だから	女の子だから	男の子だから	もらったから	その他
女子	51	24	239		43	0
男子	39	35		263	58	1
計	90	59	239	263	101	1

◎学校の休み時間に、グラウンドなどの広い場所はたいてい男の子が使っている

	はい	いいえ	その他	計
女子	208	140	3	351
男子	254	134	0	388
計	462	274	3	739

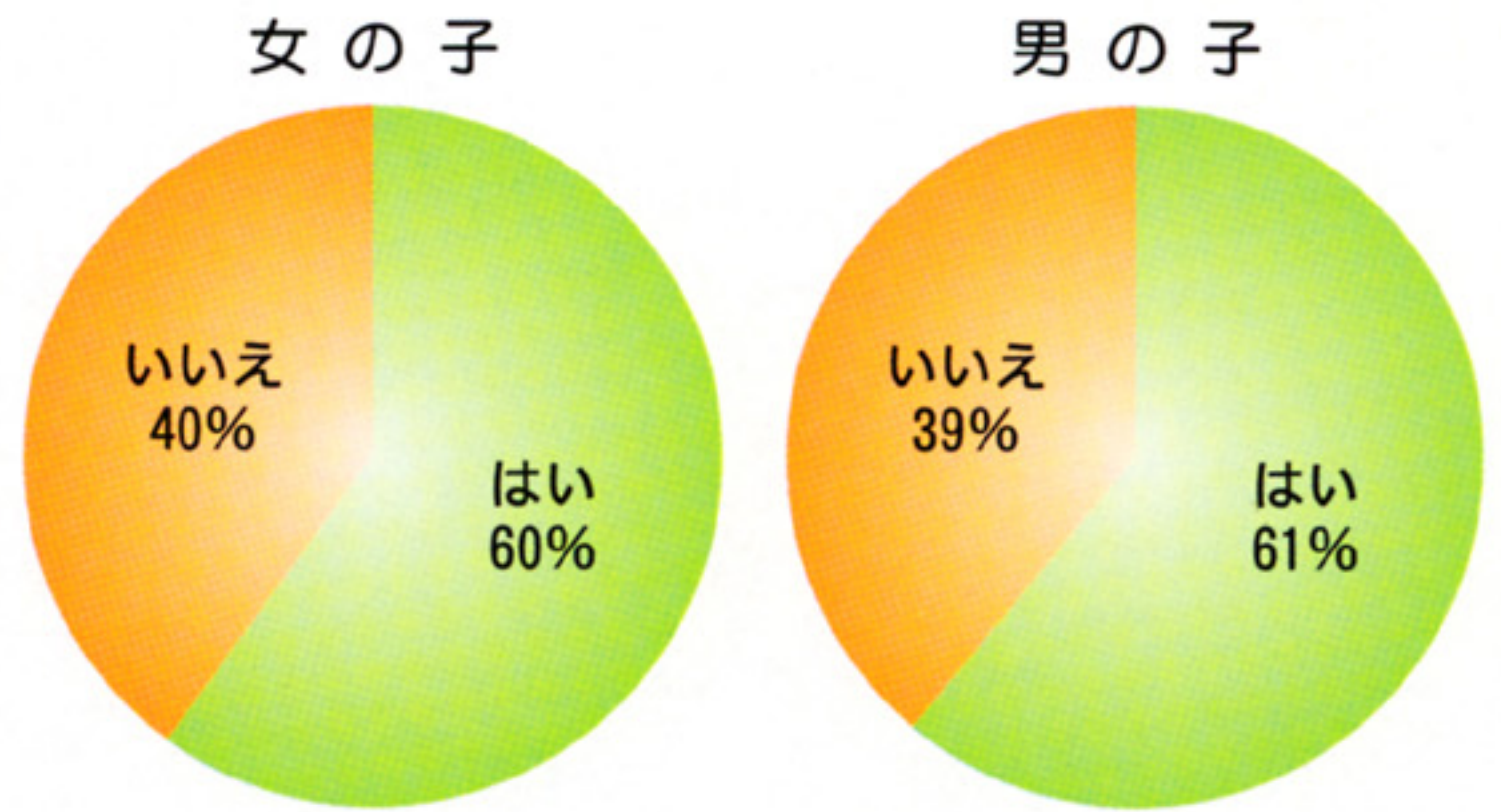
外で活発に遊びたい女の子もいれば、室内で静かに本を読んでいた男の子もいてもいいよね。



◎料理は女の子の方が得意だ

	はい	いいえ	その他	計
女子	209	142	0	351
男子	236	152	0	388
計	445	294	0	739

「料理は女の子の方が得意」と思っている児童が多いのは、家庭では、主に母親（女性）が食事を作っているのを見てから？ いいえが1/3以上あるのは、シェフは男性が多いから？

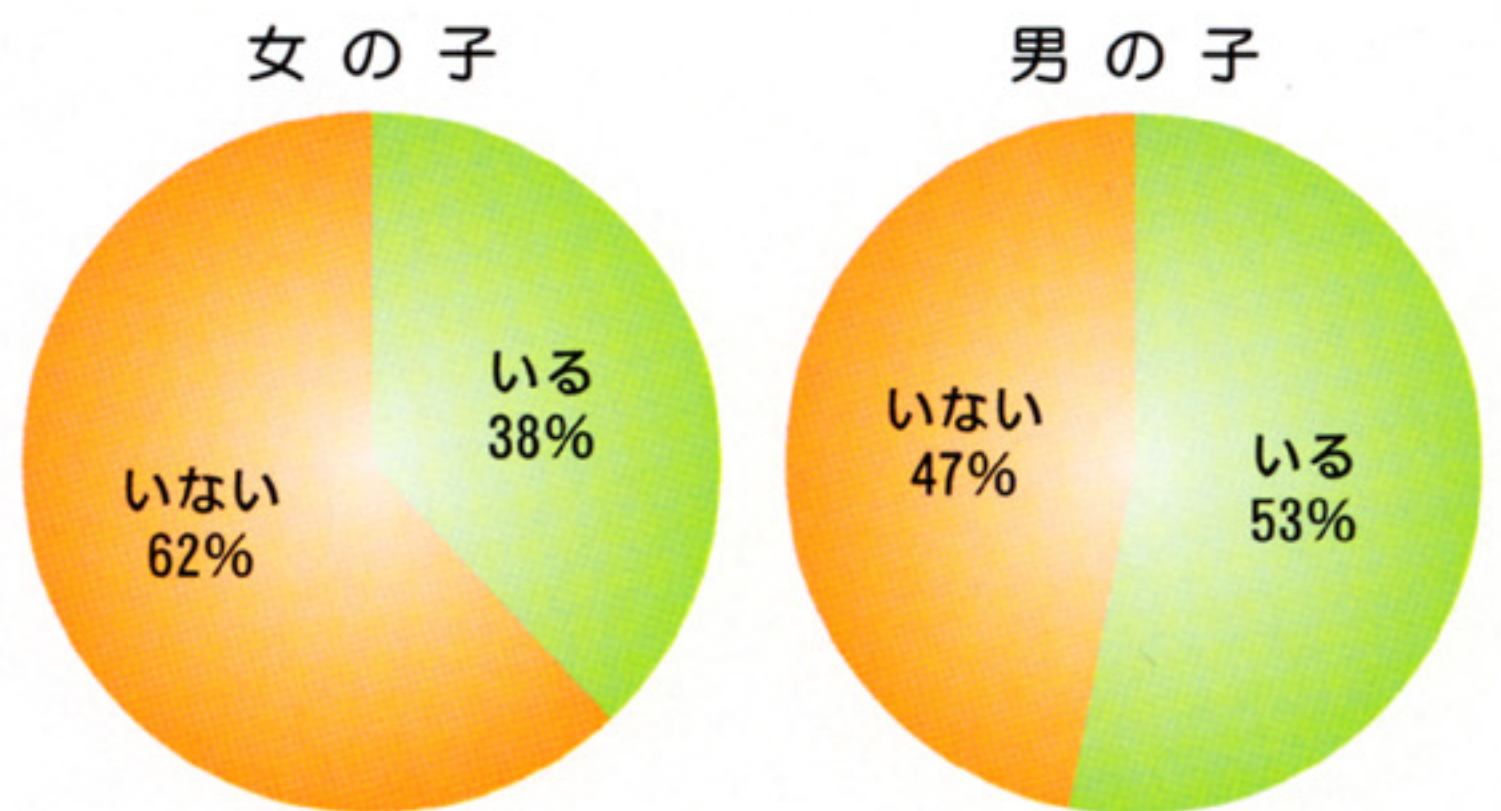


あなたのお母さんやお父さんはどう思っていますか

◎男の子は泣いてはいけない

	思っている	思っていない	その他	計
女子	133	217	1	351
男子	206	181	1	388
計	339	398	2	739

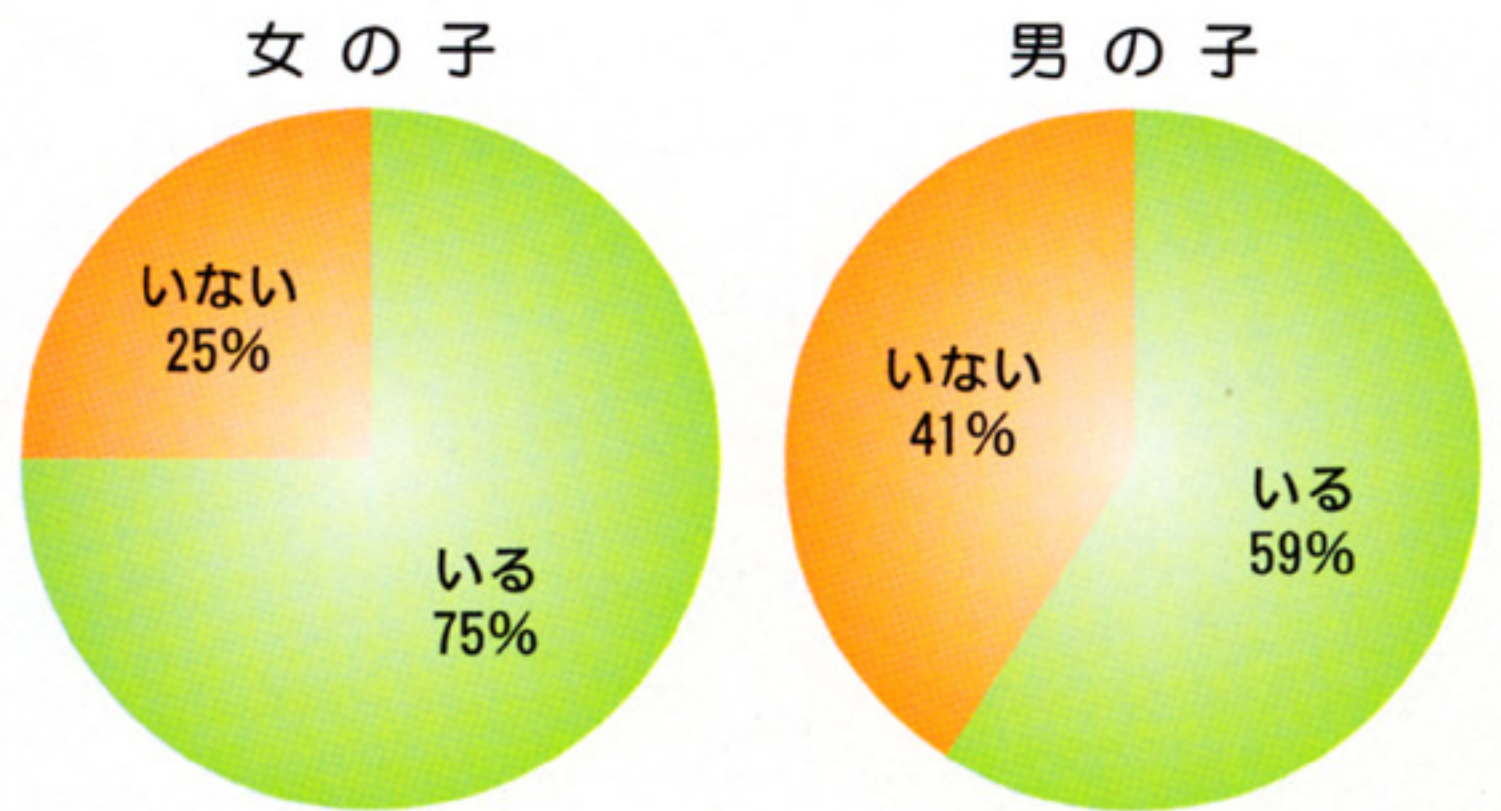
親の意識や期待に応えようとしている男の子が多いのかな。



◎女の子は男の子よりも行儀よくしなければならない

	思っている	思っていない	その他	計
女子	265	86	0	351
男子	227	159	2	388
計	492	245	2	739

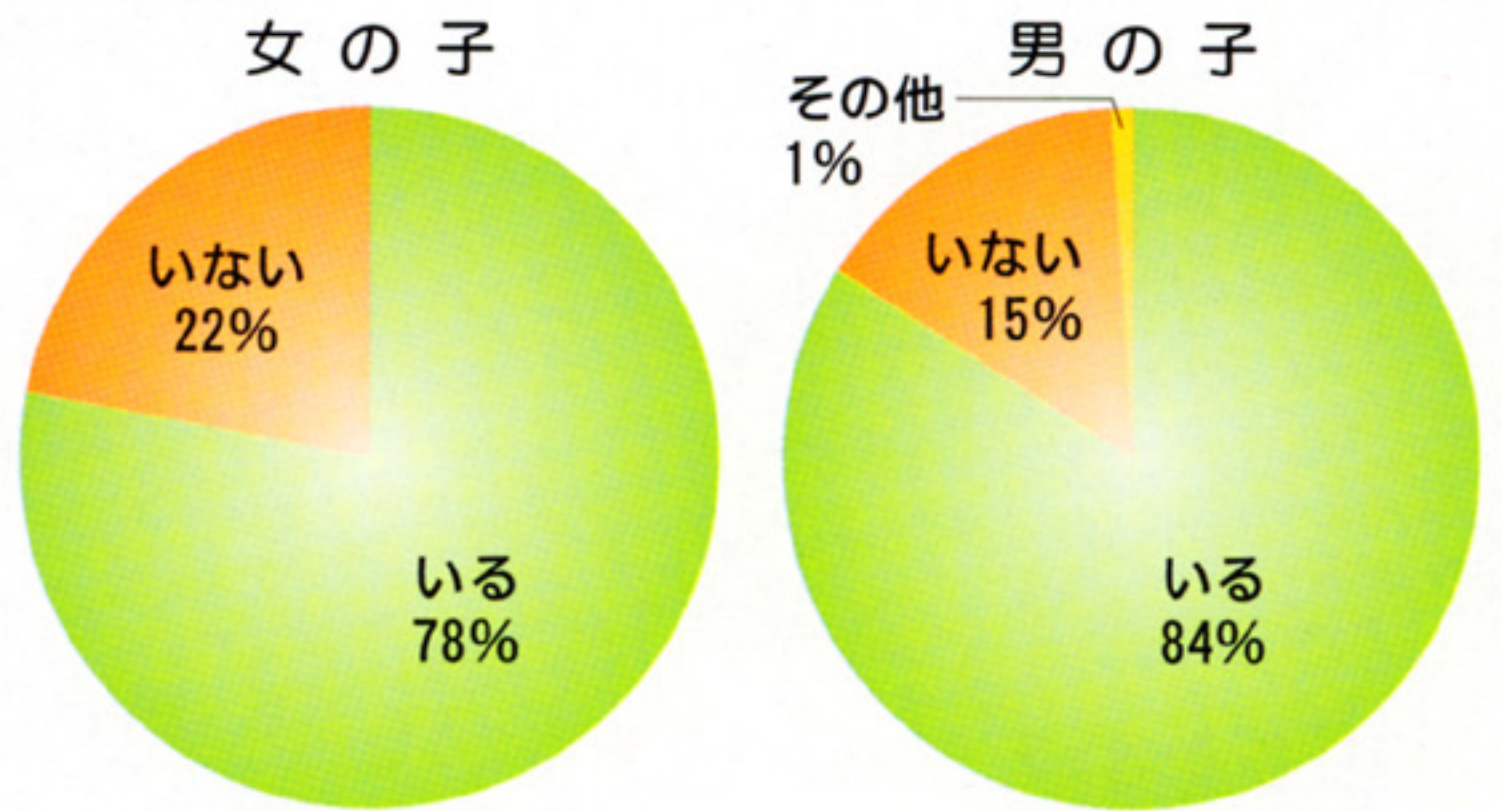
ここでも、親の女の子への女らしく…という意識や期待が感じられます。



◎男の子は将来家族を養うために一生懸命働かなくてははいけない

	思っている	思っていない	その他	計
女子	274	76	1	351
男子	325	59	4	388
計	599	135	5	739

男の子だけに責任や義務を押し付けるのはかわいそう。男女が共に担っていくのが真の男女共同参画ですよ。



◎あなたは将来なにになりたいですか

なりたい職業が男女でこんなに違うの？ もっと多様に生きたいね。

女の子…… 保母（保育士）、漫画家、美容師、ケーキ屋、デザイナー、歌手、花屋、声優、服のデザイナー、アナウンサー、看護婦、医師 など

男の子…… サッカー選手、プロ野球選手、大工、サラリーマン、漫画家、バスケット選手、金持ち、消防士、ゲームデザイナー など

## 子育てまっ

## 言わせて

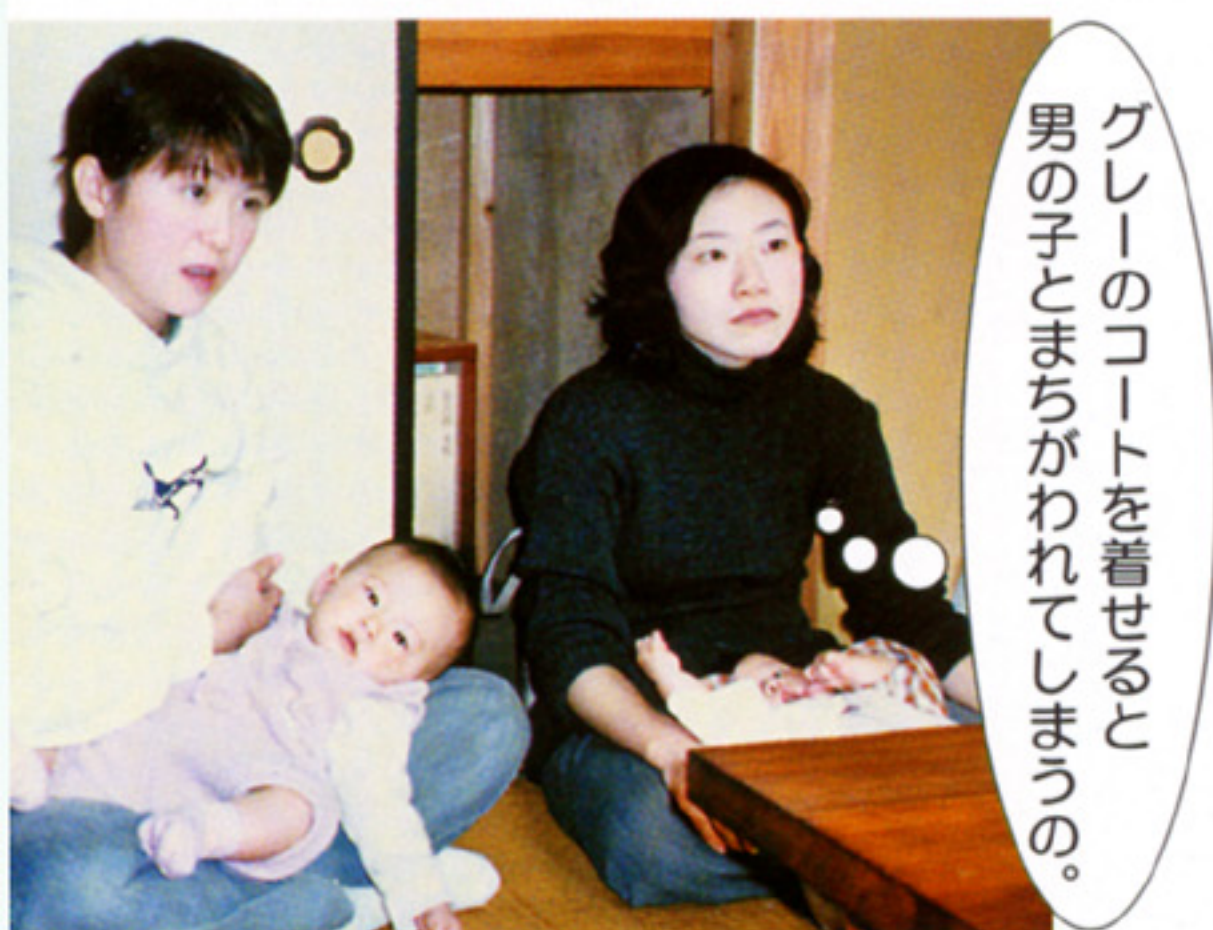
6ヵ月から7ヵ月の赤ちゃん（女）  
26歳から36歳までの専業ママが

昔から「親はなくても子は育つ」と言われていますが、この言い方はなんとなく子を育てるには専門的な知識は必要ないというニュアンスがうかがえます。

古い女性観にこだわる男性には、今でも子育ては母親だけに関われば良いという考え方が残っていますが、これは明らかな誤解であります。子どもを育てるには相当の知識が必要で、同時に、出産や子育ては男女共同で取り組むことが大切なのです。

今、子育てを支える地域社会の共同性が薄れ、母親のみに責任を負わされたことなどがひずみとして現われてきているのではないのでしょうか。

女性が楽しく充実した子育てができるように、一人ひとりの子どもの成長を社会全体で見守れるように、私たちは本気で考えなければならないのでは。



グレーの子とまちがわかれてしまうの。

## ● 親と子のスタートライン

**司会** 赤ちゃんを授かったとき、女か男かを知りたいと思いませんか。

**Aさん** 女の子だったんですが、知りたかったのは初めてだったことと、嬉しかったから。

**Mさん** 妊娠してすぐに切迫流産になりそうで、赤ちゃんが元気ならどちらでもいいと思った。

**Eさん** 私たちより周りの方たちが、どちらか知りたがっていたようだった。

**司会** たとえば女の子と判ったとき、衣類とかその他の用意などに特に気をつかいましたか。よく、女の子はピンクで優しい子に、男の子はブルーで強い子と言われていますが、本当は女の子も男の子も、ひとりの人間として育てなければならないのに、生まれる前から色で差別するのは、社会的につくられた性差別ではないかと思うのですが。

**Aさん** 今着ているグレーのコートはお祝いでもらったんですよ。この子が女の子と知ってグレーを買ってくれたと思うのです。私もこの色が好きで着せているのですが、この間、近所の方が「あら！ 坊や？」って男の子と間違えるんです。女の子なのに「そんな色着せるの」って感じます。世代とか世間の考え方が優しい色は女の子みたいにしているのではないかな。

**Mさん** まあ白や黄色が無難な色かな。

**司会** これから躄をしていこうとするときに性別で考えますか。

**Aさん** そういうことより女の子でも男の子でもやってはいけないことはやってはいけないのだし、女の子だから静かにおとなしくとは考えていません。

## ● パパも参加の子育て

**司会** 子育てをしている私は家を守り、夫は外で仕事と考えていますか。

**Aさん** うちの結構育児の手伝いをしてくれますよ。オムツ替えとかミルクとか。

**Wさん** 食事のとき夫が先に食べて、

私がまだ食べているときには子守りをしてくれたり、洗濯物を干したり取りこんでくれたり、そんなことぐらいはしてくれるよね。

**Eさん** やってくれるのはいいけど、夫の親の前ではやってほしくないよね。すぐに「今のひとはいいね、私たちの時代は…」って言うもの。

**Mさん** 「うちのお父さんは何もしてくれなかった」って、母も義母も言うんですよ。いまだに言うということは、そうとう根にもっているということよね。

そんなに根にもつのだったら、今からでもやってほしいことははっきり「やってほしい」って言ったほうがいいね。

**Aさん** 私は夫が帰ってくるとついつい文句を言ったりしてしまう。



早く大きくなりたいです。

**Fさん** 私もそう。夫が帰って来ないときのほうが子どもと2人おだやかな気持ちでいられるわ。

（あるある そういうところ）

**Yさん** 子育てを私と同じようにしてくれなくていいのだけれど、大変だなということを解ってもらえればいいと思うの。それが当たり前だと思われるのがいちばん嫌なことね。

**Aさん** 私が一方的に言いたいことを言っているとと思われるのストレスたまるよね。私だってガマンしているのだから。

# 最中ヨ！ 芽ぶきの家

女の子4人、男の子3人) をもつ  
たち7人のつぶやきを聞きました

## ● エスロンで行く出会いの場

**司会** そうですね。ガマンはつらいですよ。友達と話したり、いろいろな情報をキャッチして活用することでストレスの解消ができると思いますが、市や県が出している広報紙とか県民だよりを読んでいますか。

**Mさん** ママさん講座とか？

**Eさん** 乳児講座っていうの知っているわ。託児つきで親が講座に参加しているとき、子どもを預かってくれるの。

**司会** 急にママが具合が悪くなったりしたときに病院に行く間子どもの面倒をみてくれたり、その他いろいろな事情で子どもをみてほしいときにお願ひできるファミリーサポート制度も最近始められたのだけれど知っていますか。

**Hさん** 姉は利用しているみたい。

**Wさん** 情報はたくさん知りたいと思うわ。でも、あらためて出掛けて行くのではなくて、散歩の途中に寄ってみたら友達がいたりするところがほしい。

子どもが大きくなったら働きたいわ。



## ● 育児休暇か退職か

**司会** それから産休、育児休暇のことですが、この制度のことをどのように考えていますか。

Tさんは育児休暇中ですよ。

**Tさん** 平成13年6月までの育児休暇

です。その間、給料は2割。それはいいとして、1歳までというのは短いと思う。私は3歳位までは一緒にいたいと思うし、保育園は入れるのって大変なことらしいから。私は、実家の母が預かってくれることになっているので、まだいいと思うけれど。

**Mさん** 私は、出産をしてから退職をしたの。育児休暇がなんとなくとりにくい雰囲気だったし。だから産休だけだったわ。

**Wさん** 私は退職してから結婚をしたけれど、子どもが大きくなったらまた働きたいわ。でも、夫の協力が無いと難しいと思うの。

**Hさん** ひとりっ子は良くないと思うけど、2人目の子どもは育児休暇が終了してから、1年以上あけないと会社の規則違反になるし、なかなか望めないですね。

**司会** 育児休暇をとって職場に戻ったときのポジション、変わっていますか。

**Tさん** 私のところは同じところに戻れる。そこは空席のままだから。周りの人たちが大変な思いをしていると思うけど……。

## ● パパも育児休暇をフレックスタイムで

**司会** 育児休暇が自然にとれる職場が増えるといいですね。夫が育児休暇をとることをどう思いますか。

**Fさん** 夫の手を借りたいと思うとき休みをとってほしい。24時間べったりいるって、なんか子どもが2人になったみたいで大変！

**Yさん** 私の体の調子が悪いときとか、買い物とか子どもの検診とかね。



▲芽ぶきの家のお母さん(関 弘子さん) 向かって一番左側

**Eさん** 検診とかは前にわかるからいいけど、急に熱が出たときはほしいけど、休んでももらえないから不便ですよ。

**Mさん** 育児といっても夫は下手だし、やり直しをするのも面倒……。

**Hさん** もう一人の主婦がいるといいね。(笑い そうそう)

**Aさん** まあ、今のところは日曜日や休みのとき、子どもと遊んでくればいってどこかな？



**Tさん** 給料の保障がなければ、夫は育児休暇などとれませんよね。生活ができないもの。私は、育児休暇が終わった後の託児のことを考えていて、会社の中に託児所をほしいっていているんですけど。絶対必要ですよ。

**司会** そう言い続けることって必要ですよ。良い方向に向かうことがあるかも知れないし。まだまだいろいろな面で充実していないってことを実感しますね。私たち女性が声を出してこなかったから、それでいいと思われて来たのね。これからは男女ともに責任を果たせるように、職場の労働環境の改善や全ての面で男女平等になるよう、女性も声を出し行動に移していきたいですね。親がいい人生を生きなければ、いい子育てはできませんよね。



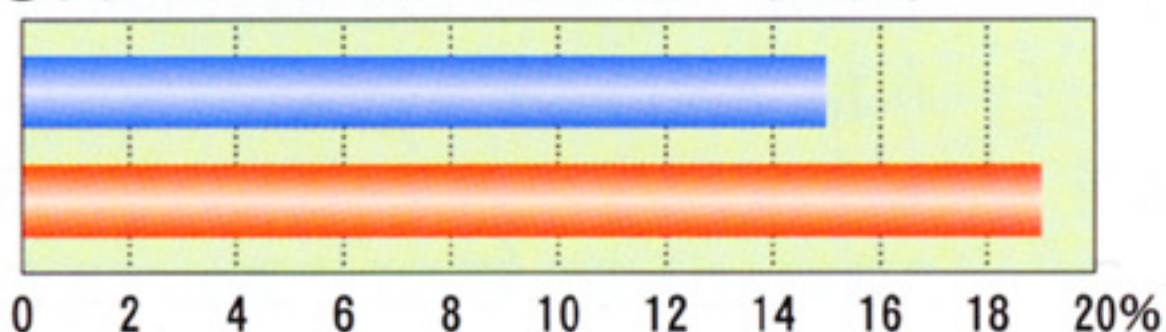
# これが21世紀の子

## パパとママの講座へ行って

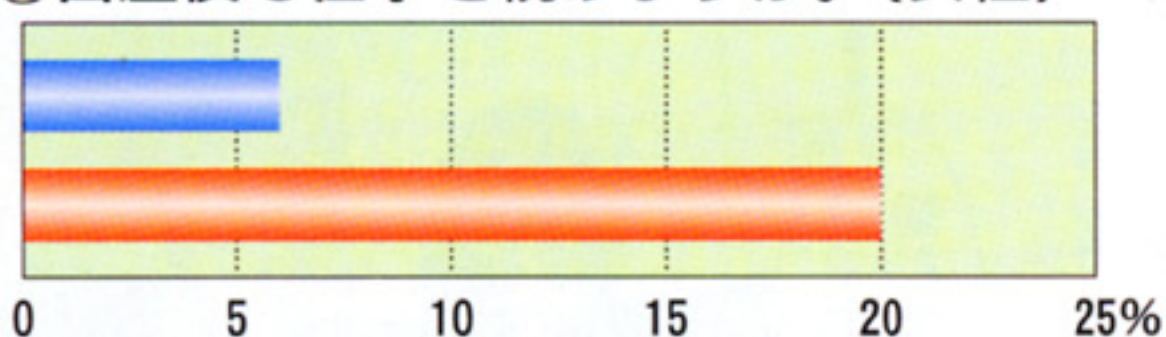
### 若い世代は男性も積極的に家事や育児に関わっています

■ はい ■ いいえ

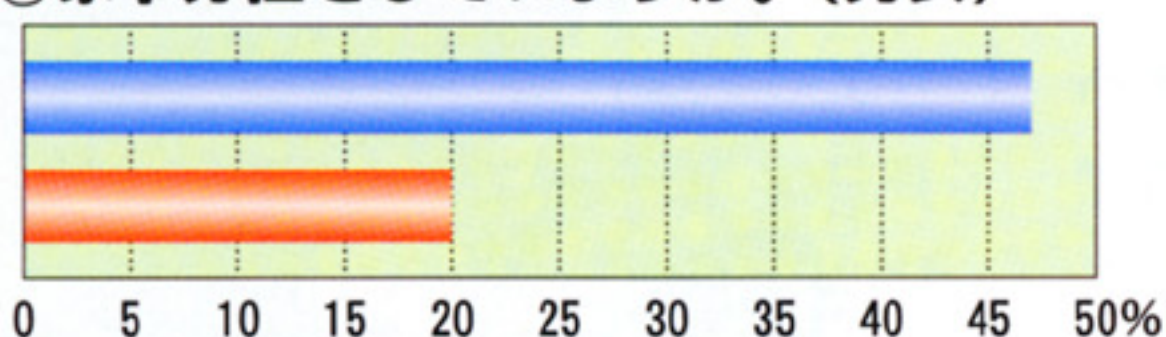
① 出産に立ち会いますか。(男性)



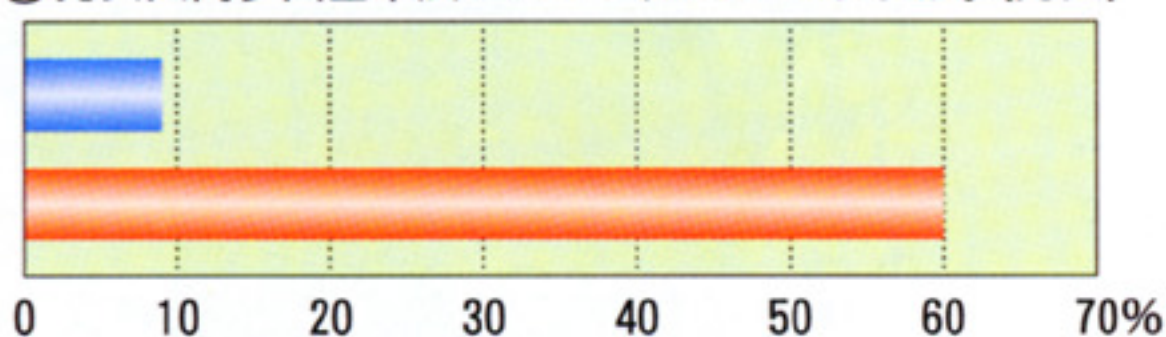
② 出産後も仕事を続けますか。(女性)



③ 家事分担をしていますか。(男女)



④ 男女共同参画基本法について知っていますか。(男女)



〈沼津市主催の「パパとママの講座」参加者アンケートより〉

1999年(平成11年6月)に「男女共同参画社会基本法」が制定されました。沼津市でも「ぬまづ男女とハーモニープラン」を策定し、男女がともに輝くまちづくりをめざしています。職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれが責任を分かち合い、個性と能力を発揮できる社会を実現していきましょう。

子供が生まれて初めて接する社会、それが家庭です。若い世代では父親も家事・育児に参画しています。

- ① もちろん僕(夫)です。
  - ② 仕事はしていません。
  - ③ 来てよかったです。
  - ④ これからは手伝わなくちゃいけないと思っています。
- Mさん**【夫二十八歳、妻三十歳】
- ① 妻から言われて。
  - ② 産休、育休で一年二カ月くらい仕事を休むつもり。
  - ③ これからは手伝わなくちゃいけないと思っています。
  - ④ (妊婦体験をしてみて)苦勞をかけるなあ、と。大変勉強になりました。
- Gさん**【夫三十歳、妻二十八歳】
- ① 市広報を見て、どちらからともなく。
  - ② 産休を取って出産。育休が二カ月程度とれる。
  - ③ 何でも手伝おうと思う。今でもかなりやらされています。
  - ④ (妊婦体験をしてみて)苦勞をかけるなあ、と。大変勉強になりました。
- A・Sさん**【夫三十二歳・妻三十一歳】

## 子育ては母親だけの仕事ではない

今回の「パパとママの講座」の中で、「よい家庭づくりをめざして」という講座を社会教育指導員の中村薫さんにお話を聞きました。

—このような講座には男性も多く参加していますか。

昔に比べると男の人が増えました。事件が相次いで起こる中で、やはり(育児)を母親だけには任せおけないんじゃないか、という意識があるようです。

—幼児虐待や学級崩壊と父親の存在を結びつけてお話をなさっていましたが……

「思春期の子どもを持つ親の講座」では各専門の先生方が、父親の存在の重要性を特に協調して話されます。今までのような親づらをした親の言葉では、今の子どもは動かないですね。やはり心から、内面から接していかないと。

# 育て？ 来ました



▲肩の力を抜いて！新米パパ

- ①どちらが誘って参加したか。
- ②(働いている妻に) 仕事はどうするか。
- ③夫はどの程度家事・育児に関わるか。
- ④参加しての感想は。

## Q・質問

ご夫妻に話を聞きました。

和気あいあい仲良く実習に参加していた。

「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。

「パパとママの講座」は全三回で、毎月行われています。この日第三回の内容は、

「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。

「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。

「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。

度で参加していました。

一月十六日(火)沼津市保健センターで、「パパとママの講座」が開かれました。午後六時半からの講座には、これから出産を迎えるご夫婦が、三十組以上集まり、熱心な態度で参加していました。

「パパとママの講座」は全三回で、毎月行われています。この日第三回の内容は、「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。

「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。

「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。

「育児実習」と夫の「妊婦体験」、そして「よい家庭づくりをめざして」という講義でした。



▲13キロの妊婦体験服を着用して、横になったり靴下をはいたり… 大変だなあ

④妻がいつもおなか苦しそうだった理由が、実感としてよく分かりました。

③前からけっこうやっています。一時間以上。子供が産まれたら全部やるつもりです。

③前からけっこうやっています。一時間以上。子供が産まれたら全部やるつもりです。

③前からけっこうやっています。一時間以上。子供が産まれたら全部やるつもりです。

③前からけっこうやっています。一時間以上。子供が産まれたら全部やるつもりです。

## 情報発信①

子育てを後押し

### 「育休法」改正へ

育児・介護法が来春パワーアップ。厚生労働省は、女性問題審議会の建議を受けて、育休法改正案を国会に提出する。法制化の柱は以下の通り。

- 育児休業や介護休業の取得による配転など不利益な取り扱いの禁止
- 就学前の子をもつ男女労働者は、1年間に150時間、1カ月に24時間を超える時間外労働の免除を申請できる
- 短時間勤務制度、フレックスタイム制の利用を、1歳未満から3歳未満に引き上げ
- 事業主は、子ども看護休暇制度の導入に努めること
- 仕事と育児、介護との両立を損なう転勤への配慮
- 性別役割分業をなくすための啓発を国に義務づけ

「朝日新聞」平成13年1月12日掲載

## 情報発信②

BOOK REVIEW

### 「ジェンダー・フリーの絵本」 全6巻



女らしく、男らしくではなく、  
自分らしく生きること

- 1 こんなのへんかな？
- 2 生きるってすてき
- 3 働かったのしい
- 4 女と男 これまで、これから
- 5 いろんな国、いろんな生き方
- 6 学びのガイド

(大月書店・A4判変型・各1,800円)

# 現代子ども事情

## ～子どもたちのいる場所～

### 託児サークル「きらきらぼし」

育児ボランティア講座卒業生有志で結成

連絡先：代表 野村容子  
TEL 63-6713

「きらきらぼし」(野村容子代表)は、もともと沼津市社会福祉協議会が主催した育児ボランティア講座の卒業生有志が集まって結成された託児サークル。現在、約30人のメンバーが月5回ほど交代で活動中。その目的は子育て中の母親の補助で、まったくの無料で子どもたちを預かってくれます。

幅広い活動の中でも重要なのが「沼津市立みゆき保育園」(東原)での託児。ここは心身障害児通園施設で、毎週金曜日には子どもたちと保護者が同園を訪れてさまざまな指導を受けています。その間、別室で兄弟姉妹の面倒を見るのが託児サークル「きらきらぼし」。時間は午前9時30分から2時間ほど。都合のよい数人がやって来て託児を請け負っています。

取材当日は狩野ひさえさん、大浦英子さん、野村容子さんの3人がボランティアの最中。託児風景は第三者から見ても非常に安定感のあるもので、包み込むようなあたたかさがあります。これが子育て経験のあるメンバーの余裕なのでしょう。

同園で預かる子どもは初めて母親から離れる子もありますが、親が安心して指導を受けたり、学習会に参加できるようにするためです。最初は泣いていた子も、回数を重ねるとボランティアさんに慣れて、安心して遊ぶ姿が見られるようになります。

### ● ベストな生き方を学ぶ 前向きな親たち

普通の託児とは少し意味合いの異なるここでの活動を、預かる側はどう感じているのでしょうか。

「最近騒がれている少年犯罪や幼児虐待など親の愛情が問われているなかで、ここを訪れる親御さんたちは、自分たちにとって最も良い生き方を学ぼうとする一生懸命な人なんです。その手助けができるのはうれしいですね」  
(大浦さん)

あなたは最近、子どもの姿を見かけますか。以前に比べて子どもが減ったなあ実感することはありませんか。もちろんないわけではありません。が、子どもたちが遊んでいる光景などが“めずらしく”なってしまったのは本当です。昔とは居場所が違うというべきかも知れません。

「子どもたちはどこへ行ったのでしょうか。将来を担う人間の『今』を探して、ヒントのありそうな3カ所を訪ねてみました。

託児ボランティア活動全般に関して困るのは、環境が整えられていない場での託児だとか。営利・非営利を合わせ、託児関連団体が数多く登場してきたのはここ数年のこと。今後も女性の職場進出が進むことを考えれば、その存在はますます大事なものになっていくでしょう。



▲まさに包み込む笑顔  
野村容子さん

### ひよこクラブ

活動歴10年以上 親子で楽しむ育児サークル

連絡先：横尾久美子  
TEL 27-2397

2000年(平成12年)3月に活動10年目を迎えた育児サークル「ひよこクラブ」。一日中親子が家の中で過ごすことなく、青空の下で元気に遊ぼう、お母さん同士で育児の悩みを話し合おう、情報交換をしようという目的で発足しました。

毎週水曜日の午前10時30分～午後1時30分、0歳から未就園までの子どもと親を対象に、千本公園や少年自然の家など沼津市近郊で活動中。会費は月

200円。公園でただ子どもを遊ばせるだけでなく、ゲームや手づくりおもちゃ、歌遊びなど「親子で楽しめる」ような内容を工夫している点が同サークルの特徴です。

お楽しみ会、クリスマス会、お誕生会、バーベキューなどなどイベントも盛りだくさん。イベントのみの参加、体験参加ができるのもうれしい。



# どんぐりクラブ

## 第五小学校内の子どもオアシス 放課後児童クラブ

問い合わせ先：沼津市放課後児童クラブ連絡協議会

TEL 34-2545（沼津市児童福祉課内）

「どんぐりクラブ」は第五小学校内に設けられた放課後児童クラブのこと。1975年（昭和50年）4月、『子供の家』として働くお母さんたちがある酒店を拠点に自主的に持ち回りで児童を預かったのがはじまりです。1999年（平成11年）4月からは沼津市が事業主体となり、より充実した運営がなされるようになり、2000年（平成12年）には全市で13クラブになりました。

同クラブは現在、小学1年～3年生までの34人が登録しています。授業終了後から午後5時30分まで、子どもたちはここでおやつを食べたり友だちと遊んだりして過ごします。月7,000円の会費が必要ですが、学校内にあって20年以上の歴史を持つという利便性と安心感はなんといっても魅力。春休み、夏休みの間は午前中から夕方まで、ほぼ1日預かってもらえます。さらに岩崎恭子さん・木原吉枝さんという2人の経験豊かな指導者がいることも心強いばかりです。

### 子ども内のいい関係 リーダーも自然発生

通ってくる子どもたちのなかにはひとりっ子や母子・父子家庭、国籍の違う子どもなどさまざまです。1人で過ごす時間が長いこれらの子どもたちにとって、このクラブは重要な意味を持っています。指導者やほかの児童と楽しくふれあうのはもちろんですが、子どもたちのなかで自然にリーダーが生まれ、率先して下級生の面倒を見るなどのメリットも期待できます。

「ただねえ」と少し表情をくもらせ



◀頼れるお二人、  
木原吉枝さん(左)と  
岩崎恭子さん



◀ゲームのあとの  
ワンショット  
“ハイ、こっち見て”

### 悩みは雨天時の活動場所 子連れに優しい遊び場を

同クラブの後期役員、遠山孝子さんは落ち着いた雰囲気もしっかりママさん。運営をしていくうえで困っている

ことや子育てに関する希望などを聞いてみました。

「雨の日の活動場所がなくて困っています。市内には子連れで気軽に安心して遊べる場がないんですよね。それから母親が子育てに関する情報を得る

る木原さん。「父母のなかには、勤めが優先で子どもに熱があってもクラブに出席させる場合があるんですよ。クラブの本質と異なるので悩んでしまいます。5時30分をとうに過ぎてやっと迎えに来た親がひと言もなく帰っていくのも気になりますよね。定時を過ぎたからといって子どもを1人にはできませんから一緒にいますけれど…。残念に思います」。

少子・高齢化がますます進むなかで、安心して子育てができる社会にするために、同クラブのような施設がもっと増えていくことを願います。同時に老人と子どものふれあいの場も必要に思えます。たとえば埼玉県大宮市には児童クラブ、老人クラブのふれあいを目標とした施設が充実しているそうです。沼津市もこれにならって皆が住みやすい町を目指したいものです。

ことができる場もつくってほしいです。私たちのサークルに新しく入るメンバーはほとんどがロコミなんですけど、ロコミで情報を得られない人たちもたくさんいると思います。そうしたお母さんたちのためにも、ね」

具体的には市役所や保健センター等に担当の窓口をつくり、専属スタッフを配置して情報提供をする、健康診断の際にプリントを配布するなど。

「遊び場、病院、育児サークル。子育て中のお母さんの立場になって、本当に必要な情報を提供してほしいです」

ほしい情報を、ほしいときに手に入れられる……これが意外と難しい。おぼれず、孤立せず、じょうずに情報の海とつきあっていきたいものです。

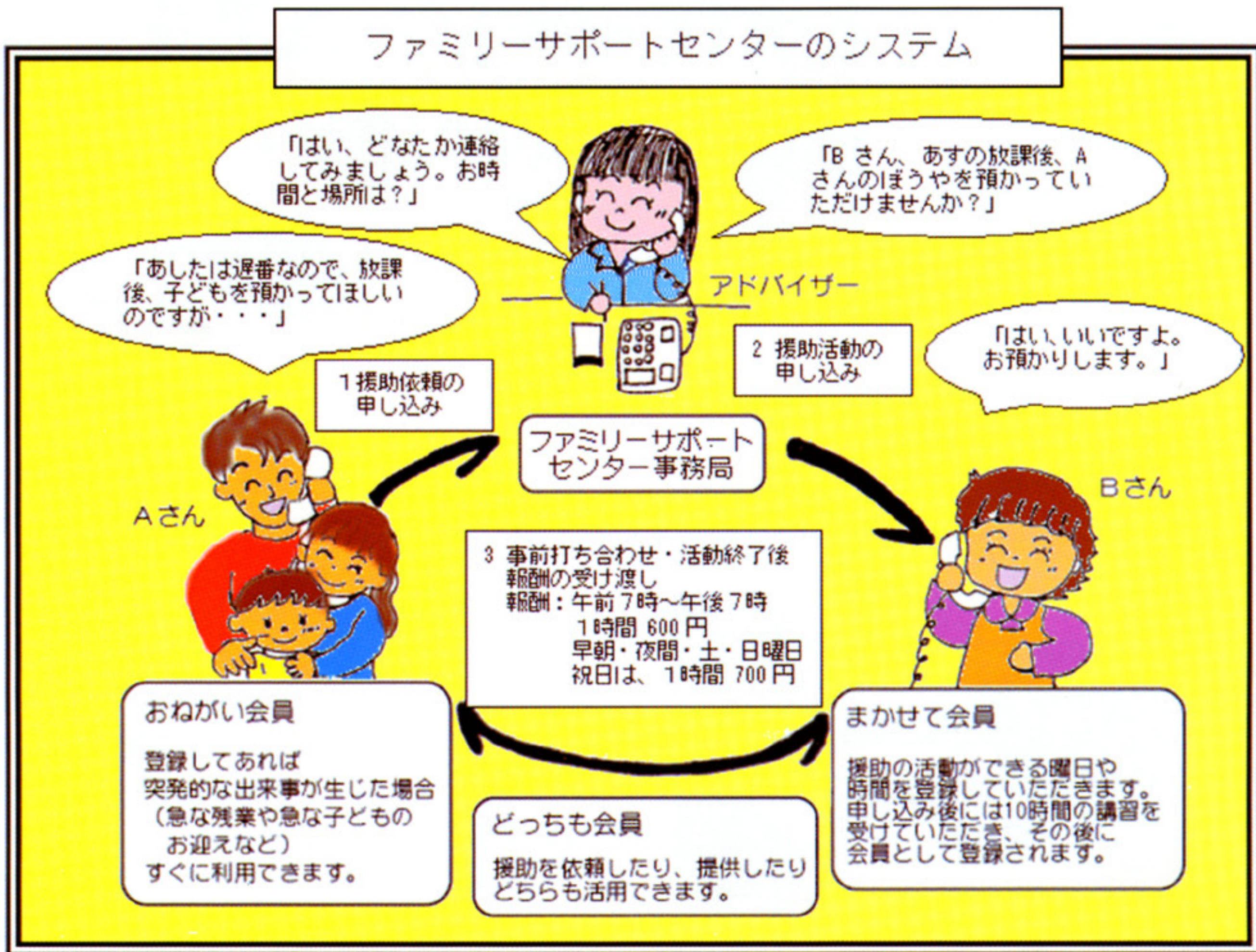
— 知っていますか —

# 「ファミリーサポート」

今、さまざまな分野で女性が進出し、活躍しています。家族や社会のありかたが問われ始め、女性の視点からの見直しも行われ始めています。女性の自己実現を求める取り組みも活発です。その一方では女性の性差はいまだ厳しく、職場での差別、家庭や社会での差別、特に介護問題や子育ての悩みは深刻です。子育てのために多くの問題を抱え、ひとりで悩む女性も多いのが現実です。今働いている女性、将来働こうと思案中の女性、子どもの病気で通院に困っている女性、習いごと・講習会に出席したい・学びたい女性、急用で誰かの支援を望む女性、このような女性のために地域ぐるみで子育て支援をすすめるのがファミリーサポートです。

足の  
ねらい

1. 女性を家事労働から解放する —地域ぐるみで子育て支援—
2. 女性の能力を開発する
3. 男女の人権を尊重する



- まかせて会員は、沼津市に住んでいる方なら、特に資格・経験・性別・年齢は問いません。
- 援助は、原則としてまかせて会員の自宅で行います。
- 子どもの対象年齢は、0歳から小学生まで。
- 会員になると、「会員傷害保険」「賠償責任保険」「児童傷害保険」の保険に加入するので安心です。（個人負担はありません）

沼津市のホームページより

ホームページアドレス <http://www.kosodate.city.numazu.shizuoka.jp/>

## 会員登録300人をめざしています。

竹本：ファミリーサポートは、地域における、相互援助活動を行う会員組織で、子供を預ける利用会員と子供を預かる援助会員によって構成されています。利用会員は、仕事の都合で、保育所等に迎えに行けない方、子供が風邪をひいてしまったが、仕事を休めない方、保護者の通院のためその間お願いをするという方が多いですね。

川口：現在、会員登録数300人をめざしています。是非、皆さんに会員になってほしいですね。支援活動をより発展させるため、新規会員のための講習会、全会員を対象とした交流会、また、地域ブロックの活性化のためのプログラム等を実施していきますのでよろしくお願いいたします。

### ファミリーサポート人数

(H13.3.15現在)

お願い会員	まかせて会員	どちらも会員	合計
124人	59人	35人	218人

年齢は10代から60代以上と幅広く、最年少は18歳、最年長は72歳。

サポート会員みなさんに  
体験談を聞きました。  
お互いに助け合っています。

### サポート体験談

#### あずけて安心、まかせてOK!

おねがい会員Y君のおばあさん

今まで、毎日タクシーを頼んで養護学校まで孫を連れて行っていました。車から降ろし、抱っこして教室まで行くのがとても大変でした。私だけで帰るときはお金がかかるのでバスと電車を利用しますが、あっという間に昼近くになってしまい、家事を大急ぎですませてからまた迎えにいきます。

私は休む暇もありませんでした。月に10万円は交通費として必要でした。

ファミリーサポートができてからは本当に助かっています。玄関から車に乗り、孫を学校にお願いするとすぐ戻ります。買い物もできましたし、生活に余裕が生まれてきました。本当にありがとうございました。

#### あいさつもしっかりできるようになりましたよ

おまかせ会員Fさん

Y君は車が大好きで、喜んで乗り込みます。あいさつもしっかりできるようになりました。赤信号が嫌いだよ



▲市児童福祉課（4.1より子育て支援課）  
川口さん（左・男性）と竹本さん（右・女性）



▲ファミリーサポートの発会式（H12.10.1）  
千本プラザにて

く騒ぎだしたりしましたが、最近では落ち着いて信号待ちもできるようになりました。「ただいま～」とうれしそうに玄関に入ってく姿を見ると、サポートする前の小さな不安や取り越し苦労が消えてしまいます。

もう数十回サポートしましたが、「頼りにしています。助かっています。ありがとうございます」と頭を下げられると、やってよかった、私の小さな力が役に立っているんだとうれしくなります。

#### 両親が遠いので頼れません。困った時はお願いします!

どちらも会員Mさん

私の子どもは小1と幼稚園の年中の2人です。今、Y君のサポートをしています。Y君とは上の子が同級生ですからすぐに仲良しになれました。うちの娘にとってY君とのふれあいは、これからの生活にきっと役に立つと思います。私も2人の子どもを抱えています。何かあったときは、みなさんよろしくお願いいたします。

夜・Cグループ（こぶし）

— こんな支援もある —

# ボランティアサロン「エンゼルサロン」



ブーブがあるよ  
ほくはガラガラがすき!!

◆原地区センターで

子どもに遊び友達がほしいな！ 私も相談相手がほしいわ！ という方はいませんか？ そんな方たちのために「エンゼルサロン」があるのです。

少子化・核家族化により、親たちはいろいろな悩みや不安をぶつける場がなく、子どもたちも子ども同士で「遊び込む経験」が少なくなっています。それらを少しでも解消しようと、地区の公民館や小学校の空き部屋を利用して定期的に行われています。お母さん（もちろんお父さんも！）が少しでも気持ちを楽しんで豊かな子育てができるように、また子どもたちは友達に出会って、刺激し合いながら明るく元気に育っていけるようにと願っています。

子育ては親だけであるものではありません。せっかくこんな素敵な場所があるので。どんどん利用してみてください。



おもちゃがたくさんあるし  
畳だからゴロゴロできるよ!

## 参加ママにインタビュー

- 友達が増えてうれしい。
- 子どもの人見知り直ってよかった。
- 家では昼寝をよくするようになった。
- 狭い家のなかよりのびのび遊べる。
- 一人っ子なので他の子とふれあいができて良い。
- サロンに行くことが楽しみです。
- 参加時は、子どもが親から離れるので気持ちが楽になります。
- 相談できる専門家にいてほしい。
- 大きいおもちゃがあればよい。
- 情報のキャッチができます。



おりがみやおえかきが  
できるんだよ!

◆金岡小学校で

ミルクもつくれるし  
ママもお茶が飲めるよ。



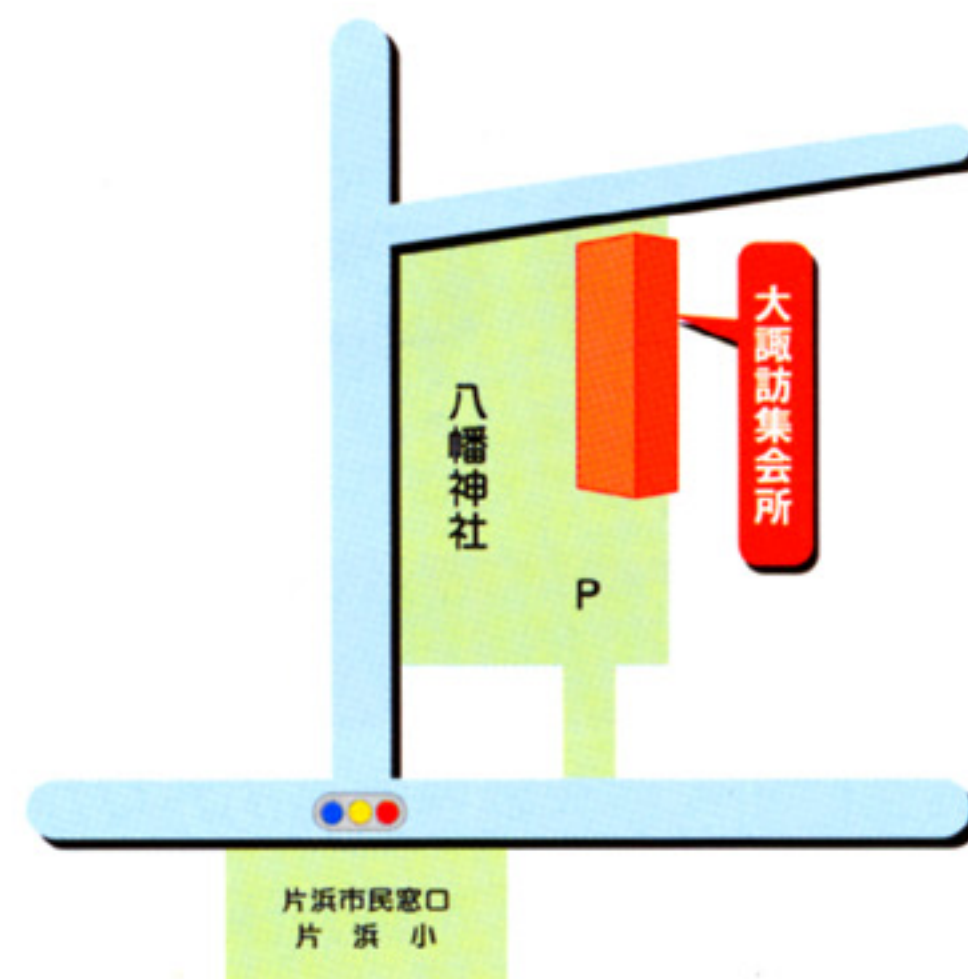
**1 原地区センター（和室）**

第2木曜日 9:30~11:30  
杉原勢津子 TEL 66-0319



**2 大諏訪集会所（和室）**

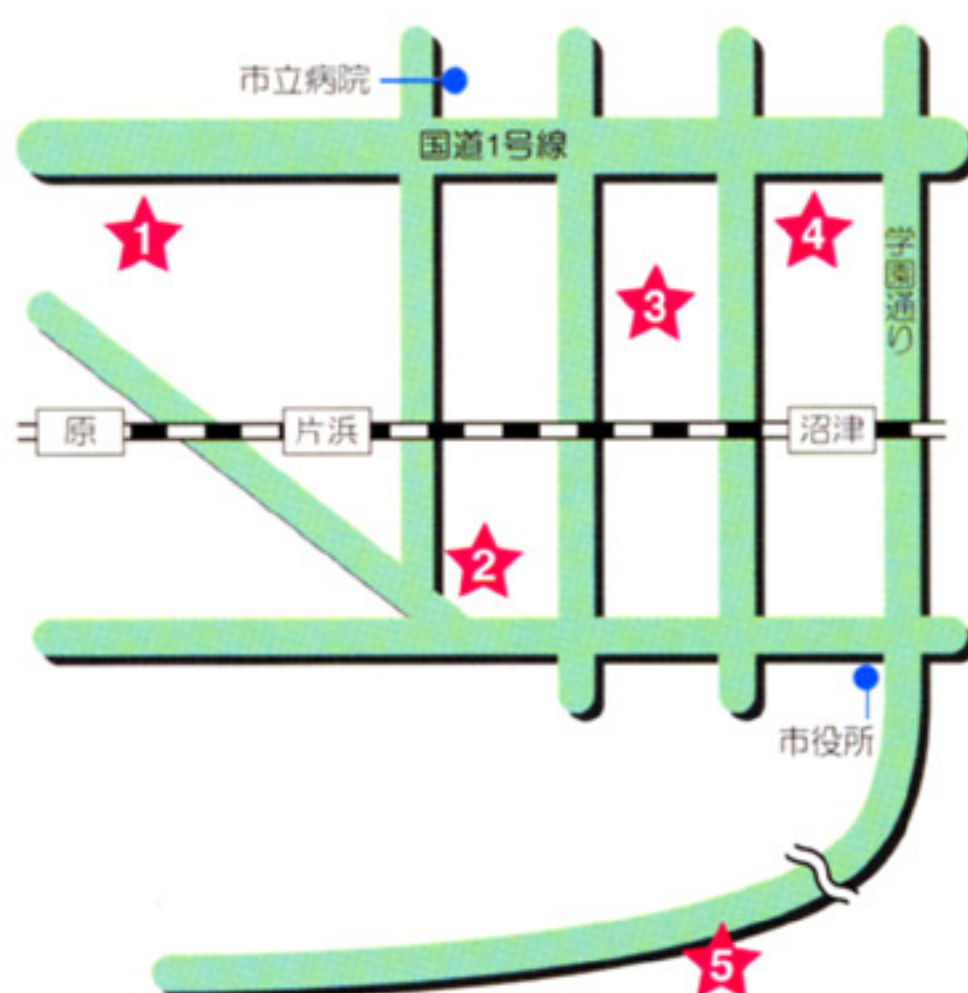
第3火曜日 9:30~11:30  
田村 輝美 TEL 51-2236



各地で  
エンゼルサロンを  
開催しています。  
ちょっと出掛けて  
みませんか。

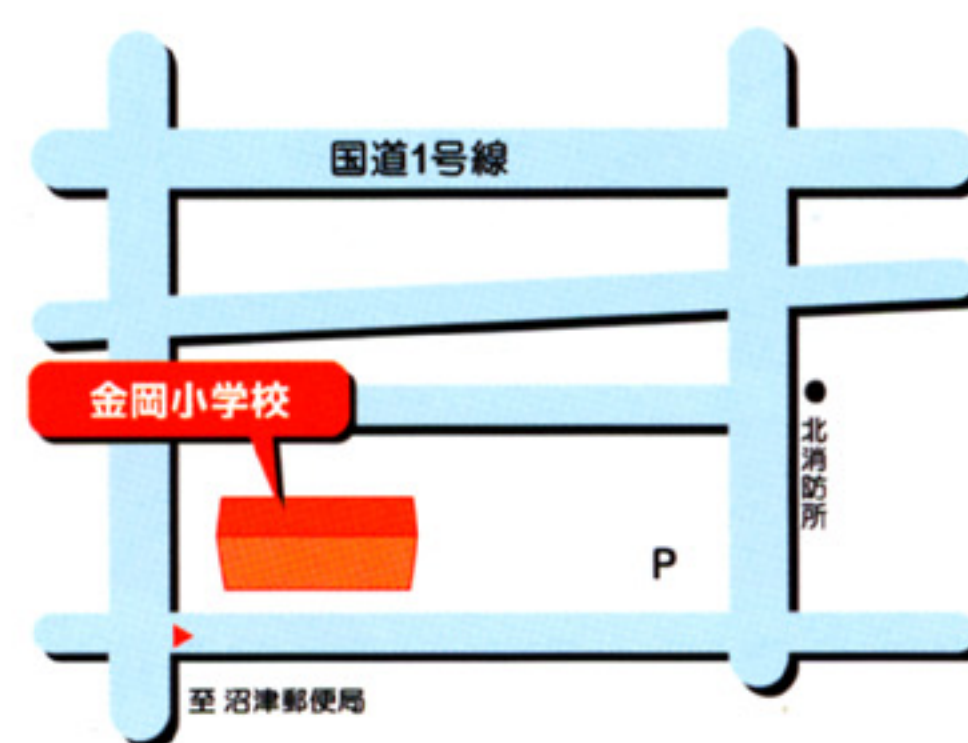
**3 開北小学校（ともだちルーム）**

第2・4火曜日 9:30~11:30  
佐野 明美 TEL 24-3534



**4 金岡小学校（ひまわりホール）**

第1火曜日 9:30~11:30  
風間 悦子 TEL 21-4656  
志鎌 李子 TEL 21-4933  
\*南口より2Fへ  
\*スリッパ持参



**5 三津公会堂（2Fホール）**

日程要問い合わせ 10:00~11:30  
佐藤 和美 TEL 43-2270  
\*車は内浦漁協駐車場へ



行きたい時に  
行きたい所へ  
ぜひ、どうぞ!

ほかに、こんな所もあります。

ふれあいプラザコアラ（今沢小学校内）  
月～土 9:30~16:00 TEL 68-6633  
コアラタイム 第3木曜日 9:30~11:00  
キッズタイム 第3土曜日 9:30~11:00  
（要予約）

**沼津市からのメッセージ**  
市内のエンゼルサロンでは、地域の方々の協力で多くの親子連れが集い、どこも賑わっています。子どもたちやお母さんたちの楽しそうな様子を見て、このようなふれあいの場が、身近にたくさんできるよう期待しています。  
（児童福祉課）

# 男女共生社会をめざして

— 市の取り組み状況 —

## 沼津市男女共生プラン推進委員会開催（2回）

昨年に引き続き推進委員の方々から男女共生を推進するための意見や助言をいただきました。推進委員19名（公募市民・学識経験者・市議会議員・関係団体代表・助役・教育長で組織）

### 第1回 H12.10.18開催

- 主にドメスティックバイオレンス（DV）についての意見討議



◀DVビデオを視聴後、沼津市の現状について担当者から説明を受ける推進委員

### 第2回 H13.2.27開催

- ぬまづハーモニープランの推進について意見・討議
- ぬまづハーモニーカレッジの現況について説明



男女共生啓発ポスターの選考中

## 企業内セミナーへ講師派遣（3回）

商工会議所、沼津地区労働者福祉協議会、県の協力のもとに、企業の経営者・人事担当者・勤労者を対象に改正男女雇用機会均等法の周知・徹底や男女平等意識の向上に向けての研修会を開催しました。

### 第1回 H12.10.12



商工会議所（企業経営者・商業部会）  
講師：薬袋美穂子氏（フリーレポーター）  
演題：女性を活かす企業経営

### 第2回 H12.11.13（県と共催）



商工会議所（合同研修会）  
講師：久保田桂子氏  
演題：成長企業の女性社員の活かし方

### 第3回 H13.2.7



労働者福祉協議会（人事担当者・勤労者）  
講師：野川 忍氏（東京学芸大学教授）  
演題：女性と企業の新時代

## 男女共生推進講演会

H13.2.18 市立図書館4階 視聴覚ホールにて

講師：向井万起男氏（慶應義塾大学医学部助教授）

演題：女房が宇宙を飛んだ

日本人初の女性宇宙飛行士向井千秋さんの夫を最大の肩書きとしている講師から、一緒にアメリカに行き内助の功を發揮したこと、君についていこうというのは後ろからではなく横からついていくということなど、ユーモアたっぷりの話があり、参加者との間に一体感が生まれた講演会でした。



## 講演会（向井万起男氏：女房が宇宙を飛んだ）のアンケートより

とってもおもしろかった。ユーモアのあるなかで、伝えたいことはしっかりとそこに含めていて、とても印象的だった。

（20歳代・女性）

大変おもしろく、ためになる話を感動とともにつたえていただき感謝しております。

（20歳代・男性）

とても楽しいお話でした。また、好感のもてる人だなあと感じました。すばらしい夫婦だと思いました。

（30歳代・女性）

講演はよく聞く方ですが、こんなに楽しく中味の濃い講演は久しぶりです。「日米の教育の差」の話、考えさせられました。この内容をもっと深くお話し願ったかっと思ひます。

（30歳代・男性）

気づいていない男女差別一意識 大切ですね 楽しかった

（40歳代・女性）

平等の本当の意味がわかったような気がする。

（40歳代・男性）

すごい経験を積んだ説得された話で、すばらしいものだった。常に男女のことを意識した生活をするよう心がけたい。

（50歳代・女性）

非常に感動的な講演でした。男女共生のことを真剣に考えるきっかけになった。経験（体験）に基づく話はすばらしかった。

（50歳代・男性）

万起男さんがいかに千秋さんを愛しているかわかった。男女共生とはこうあるべき。

（60歳代・女性）

男女共生推進の勉強になり、また私生活でも大いに取り入れたい。

（60歳代・男性）

非常に良かったです。「やろうか、やらまいか迷ったらやるべきだ」と年はとっても、今でもそう思って今後ともそのことは実行するつもりです。

（70歳以上・女性）

初めて聞くことで、話が非常におもしろかった。世の中みな向井さんの様な夫婦でありたいと同感し、感動しました。非常に貴重な話であった。

（70歳以上・男性）

## ぬまづハーモニーカレッジ開講から閉講まで（2年目実践編）

平成11年6月30日に開講された2年続きのハーモニーカレッジは、平成13年3月23日に閉講しましたが、カレッジ生は、1年目は基礎編として主に女性学を、2年目は実践編としてワープロ・インターネット、ディベート術、企画・立案、情報紙作成について学びました。その成果として、市の情報紙（第2号）を作成することになり、講師の大国先生から、取材から編集までの指導を受け、8グループに分かれて作成に向けて取り組んできました。平成13年度はハーモニーカレッジの修了生として、ネットワーク化を図りながら男女共生に向けて、その推進役を担っていただくこととなります。



H12.9.1  
大国先生より情報紙作成の指導を受けているカレッジ生



H13.3.23 開講式  
斎藤市長より修了証書をいただく



閉講式後、情報紙作成についての発表を行うカレッジ修了生

**カレッジ修了生のみなさん、大変お疲れ様でした。  
これからは男女共生の推進役としての活躍を期待しています！**

編

集

後

記

男女共生情報紙第2号は、ぬまづハーモニーカレッジ受講生が昼間生4グループ、夜間生4グループに分かれ、それぞれがテーマを決めて作成しました。

<p>夜・Bグループ：プラス1</p> <p>女性学からパソコンまで幅広い学習の最後が情報紙の作成でした。グループの一人ひとりが取材を通して女（ひと）と男（ひと）の共生について考えることができた実感しています。大切なことは、女（ひと）と男（ひと）とが支えあう思いやりなのですね。</p>	<p>昼・Dグループ： 枝垂れ梅グループ</p> <p>アンケートを始め情報紙をつくることの難しさや、多種多様な各家庭に男女共同参画を進めることの難しさを肌で感じました。一方、スタッフとの楽しい交流を通じて、様々な情報を得る機会に恵まれ、視野が広がりました。</p>	<p>昼・Cグループ：イコール</p> <p>学校の中は男女平等が進んでいると言われている。しかし、アンケート結果を見ると、先生や両親の影響がとても大きいことに気付く。学習やアンケートを通して、ジェンダーに敏感な視点を持つことの大切さを知った。</p>	<p>昼・Bグループ： ワラビーのポケット</p> <p>人として生きることの大切さを、多くの仲間と学びあえたことに感謝しております。多くの課題のなか、人としての豊かな魂を持つ子どもを育てるには、両親はもちろん、地域の住民とともに育ちあうことが必要だと思いました。</p>
<p>インタビュー 市長、教育長 わが家はこんな妻、夫 おーいお茶!</p>	<p>アンケート あなたの家の家事は</p>	<p>沼津市内の小学5年生739人に聞きました 男女の性差に関するアンケート</p>	<p>言わせて 子育て真っ最中ヨ! (芽ぶきの家)</p>
<p>夜・Aグループ：マレコ</p> <p>講義を受ける一という受け身の立場から、企画・取材・編集をやり、「やった!」という充実感があります。個々の力は小さくても、大勢が知恵を出し合い、手を携えれば、自己の能力以上の成果を得られると改めて実感。</p>	<p>夜・Dグループ</p> <p>子どもたちの身近にいるまわりの人たちが互いに協力しあい、子どもたちをとりまく環境を整備していく必要があると実感しました。取材を通して、子どもたちにやさしい環境づくりを心がけていきたいという思いが強くなりました。</p>	<p>夜・Cグループ：こぶし</p> <p>取材を通して子育てに悩むご家庭が多いことに気がつくと同時に、こぶしの仲間が肩を寄せ合って取材活動やまとめをしたこともよい経験でした。2年間学んだことをこれからの日々の生活の中で活かしていきたいと思います。</p>	<p>昼・Aグループ： グループ・シード</p> <p>20代から60代、それに3歳2人を加えて、一つの目的を持って、ワイワイガヤガヤ集まり、回を重ねるごとに和やかに楽しくなって、今後、この仲間に関わりが起きたら、きっと協力しあう絆が出来て、お互いに頼もしい存在となりました。</p>
<p>これが21世紀の子育て? パパとママの教育へ行ってきました</p>	<p>現代子ども事情 —子どもたちのいる場所</p>	<p>知っていますか 「ファミリーサポート」</p>	<p>こんな支援もある ボランティアサロン「エンゼルサロン」</p>

情報紙の名前は…

ハーモニー

にきました

広募をありがとうございました。

大岡の塩崎史子さん、大手町の永井正美さんからご応募いただいた、「ハーモニー」に決定しました。ほかに「すくらむ」「いきいき輝く」「あっとほーむ」などがありました。これからもハーモニーをよろしく願います。

ご意見をお寄せください! 内容をさらに充実させるため、いろいろな情報・感想などお待ちしております。

お気軽に男女共生推進室までお寄せください。

発行：沼津市企画部市民生活課男女共生推進室（男女共生推進室は4月1日より企画調整課に移ります）

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号 TEL：34-2592 FAX：34-5011